

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費

観光戦略課(内線:7239)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
教育旅行誘致強化事業	18,995	10,739	8,256				18,995	
トータルコスト	19,784千円 (前年度 11,531千円) [正職員:0.1人]							
主な業務内容	関係機関等との連絡調整							
工程表の政策内容	魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>鳥取ならではの地域資源と、各分野の人材等を活用した体験型教育旅行商品の開発・普及を促進し、鳥取の魅力を来県する児童生徒に伝えることにより、鳥取ファンやリピーターの獲得・拡大を目指す。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 教育旅行誘致を目的とした宿泊助成 7,995千円 本県での教育旅行受入を積極的に進めるため、宿泊費助成を設け、教育旅行の誘致促進を図る。 補助対象者 県外の小、中、高等学校 補助額等 宿泊延べ人数×1千円(上限300千円/校)</p> <p>(2) 体験型教育旅行誘致促進業務補助金 11,000千円 教育旅行の誘致拡大に向け、視察旅行の開催等の積極的な売り込みを図るとともに、体験型教育旅行の受入機能を強化する等の受地体制整備に取り組む鳥取県教育旅行誘致促進協議会に対し、運営費等を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県教育旅行誘致促進協議会運営費(観光関係団体等の受地体制整備、体験型教育旅行の誘致活動) ・教育旅行誘致コーディネーターの配置 ・(拡)教育旅行向け新規メニュー開発 ・(新)来鳥児童生徒への「とっとりウェルカニ会員証(仮称)」の発行 <p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度より、鳥取県観光連盟に教育旅行コーディネーターを配置し、県内で一体となった誘致活動や体験メニュー造成、宿泊費助成により、誘致校数・人数は順調に増加している。 ・コロナ禍にあつて延期・中止が相次いだものの、都市部を敬遠する傾向があるため、自然豊かで感染者数が少なく、密になりにくい本県への教育旅行のニーズは高まり、緊急事態宣言解除以降一気に増加し、令和3年度は過去最高の84校約9,500人が来県した。 ・今後、コロナの収束とともに元の旅行先に戻るのではなく、引き続き鳥取県への教育旅行誘致を強化するため、これまでのアクティビティ等の体験メニューを強化するとともに、SDGs、環境、平和など新しい学習的要素のメニュー開発、素材の磨き上げを行う。 								

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

観光戦略課（内線：7239）

3 項 観光費

西部総合事務所県民福祉局（電話：0859-31-9767）

1 目 観光費

西部総合事務所日野振興センター日野振興局（電話：0859-72-2080）

〈総合事務所分は地方機関計上予算〉

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりスタイルエコ ツーリズム普及推進事業	22,449	21,798	651	6,500			15,949	
トータルコスト	41,945千円（前年度 41,375千円）〔正職員：2.4人会計年度任用職員：0.2人〕							
主な業務内容	補助金交付事務、実施主体との連絡調整等							
工程表の政策内容	魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信、外国人観光客の受入環境の整備、エコツーリズム・スポーツツーリズムの推進							
事業内容の説明 【「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」充当事業】								
1 事業の目的・概要								
近年、消費者からのニーズが高まっている「エコツーリズム」、「グリーンツーリズム」（こうしたツーリズムを包括して「ニューツーリズム」と総称）に対する受入機能を強化するため、地域資源の観光メニュー化や規模拡大、県外への情報発信やプロモーションを行う団体を支援する。								
2 主な事業内容								
【Ⅰ 国内誘客の推進 3,500千円（観光戦略課）】								
地域資源の観光メニュー化や規模拡大を行う団体を支援する。								
(1) 観光メニュー造成や受地整備に対する支援（ステップアップ型）1,000千円								
補助対象者		市町村、観光協会など						
補助額等		1 / 2（上限500千円）						
(2) 人材育成を核とした体制整備や規模拡大への取組に対する支援（規模拡大型）2,500千円								
補助対象者		市町村、観光協会など						
補助額等		1 / 2（上限2,500千円、1事業者に対する支援は3年を限度とする。）						
【Ⅱ アウトドアツーリズム普及推進事業 17,335千円（西部総合事務所）】								
これまでのスポーツツーリズム「サイクリングリゾート」推進事業等による取組みの蓄積及びネットワークを活用しながら、「とっとりスタイルエコツーリズム」の一端として、スポーツ・アウトドア環境の整備とともに幅広く内外にPRするための情報発信を行い、多くの方々に来訪いただき満足いただけるような地域を目指す。								
(1) アウトドアツーリズムイベント開催支援 6,500千円（単位：千円）								
名称（開催時期）		参加者概要（令和元年実績）					予算額	
全日本トライアスロン皆生大会（7月）		個人934人（県内82人、県外852人）、チーム（3人一組）60組					5,000	
皆生・大山 SEA TO SUMMIT（5月）		204人（県内83人、県外121人）					1,000	
中海オープンウォータースイム（6月）		198人（県内60人、県外138人）					500	
(2) 環境整備 10,835千円（単位：千円）								
事業名		内容					予算額	
弓ヶ浜サイクリングコース維持管理		皆生海岸ルート及び夢みなと工区の維持管理及び沿線美化活動への支援					4,791	
弓ヶ浜サイクリングコース路面改修		皆生海岸ルートの荒れた路面の改修を行う					4,388	
日野川周回ルート維持管理		日野川周回ルートの維持管理					1,656	

【Ⅲ たたら資源等の活用体験事業 1,614千円（西部総合事務所日野振興センター）】

圏域の新しい観光素材の発掘等や全国に誇る地域資源である「たたら」の磨き上げに取り組む団体との連携により、圏域全体での認知度向上と交流人口の増加を図る。

(1) 地域の誇り「たたらの里」磨き上げ事業 564千円

日野郡の歴史的資源である「たたら」の認知度向上を図るため、県西部においてミニたたら操業体験を実施する等の取組により、交流人口の増加及び地域資源の魅力化につなげる。

(2) 日野郡ニューツーリズム推進事業 1,050千円

事業主体	日野郡広域交流促進協議会
事業内容	日野郡にある地域資源を活用したエコツーリズムメニューの造成や磨き上げ、各町・各町観光協会等と連携した広域での情報発信について助成する。
補助率等	1/2（上限1,050千円）

3 事業目標・取組状況、改善点

- ・ 地域資源のメニュー化や磨き上げ、ガイド育成のほか、主要地を結ぶ地域情報の収集や情報発信など、とっとりスタイルエコツーリズムの一層の全県展開を図る。
- ・ 県西部地域は、これまでもトライアスロン大会、SEA TO SUMMITなどのスポーツイベントの開催を継続的に支援しており、令和2年3月22日に全線が開通した「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」利用者の拡大に向けた継続的なPRと合わせて、引き続きアウトドアツーリズムの適地としてのブランド化を図っていく。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光戦略課（内線：7273）

1 目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) おもてなし日本一鳥取づくり推進事業	5,000	0	5,000	5,000				
トータルコスト	5,789千円（前年度 0千円）〔正職員：0.1人〕							
主な業務内容	研修会開催及び補助金事務等							
工程表の政策内容	魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信							
事業内容の説明 【「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」充当事業】								
1 事業の目的・概要								
<p>観光客の満足度を高め、再訪を促すため、県内観光事業者・団体がおもてなしのスキルアップを図る取組（コンシェルジュ、ストーリーテラー、ガイドの養成等）を支援する。</p> <p>県内観光地のおもてなし度点検やおもてなし研修会を実施するとともに、観光事業者が行うおもてなしスキルアップへの取組に対し支援を行う。</p>								
2 主な事業内容 （単位：千円）								
	区分	内 容						予算額
1	民間団体と連携した県内観光地のおもてなし点検、研修会の開催	<p>観光客の満足度を高め、リピーターを増やすため、おもてなし向上に取り組む民間団体や、本県に移住する客室乗務員等とも連携し、県内観光施設におけるおもてなし度点検や、おもてなし研修会等を実施する。</p> <p>【具体的内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 接客スキル研修 ・ トラブル対応に係る研修 ・ サービス品質向上等に関するセミナー・提案 等 						2,000
2	観光客の消費拡大につなげるおもてなしスキルアップ推進事業補助金	<p>県内の観光事業者・団体が、おもてなしスキルアップを図るために専門講師等の派遣を受けておもてなしを向上させる取組を支援する。（補助率1/2）</p>						3,000
合計							5,000	
3 事業目標・取組状況・改善点								
<p>県内観光地のおもてなしが地域の魅力との一つとなるよう、おもてなしのスキルアップに向けて観光事業者と連携して取り組み、リピーターの獲得、知名度向上を図る。</p>								

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取砂丘活性化・魅力向上プロジェクト	109,887	7,500	102,387	47,793	<28,000> 36,000		26,094	県費負担額 54,094
トータルコスト	120,139千円（前年度8,292千円）[正職員：1.3人]							
主な業務内容	補助金交付事務、委託、工事発注、関係団体等との連絡調整等							
工程表の政策内容	魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

新型コロナウイルスの感染拡大以降、国立公園を始めとする自然公園の価値が改めて見直されていることから、鳥取砂丘の観光振興や魅力向上に向けた取組、公園利用者の受入環境の整備等を一体的に進め、鳥取砂丘の魅力向上に向けたソフト及びハードの一体整備を鳥取市と連携して進める。

なお、本プロジェクトは、「鳥取砂丘の観光振興、活性化及び保全における鳥取県と鳥取市との連携協約」による調整等を踏まえ実施する。

2 主な事業内容

(1) 「鳥取砂丘イルミネーション」に対する支援

観光入込客が減少する冬期に県内外からの誘客を図るため鳥取砂丘で実施しているイルミネーション事業に対して支援を行う。

区分	内容
補助対象者	鳥取砂丘イルミネーション実行委員会
事業内容	電球購入、電飾取付・撤去、イベント実施等
補助率	1/2 ※鳥取市も同率で補助予定
予算額	7,500千円 ※鳥取市も同額を補助予定

(2) 「日本一のすなば」魅力まるごと事業負担金（鳥取砂丘未来会議への負担金）

鳥取砂丘未来会議が公募し、採択したイベントについて、鳥取砂丘内での法令上の手続き、広報及び経費の支援を行う。

区分	内容
募集対象	・鳥取砂丘の自然体験を通じ、砂丘の魅力を学習するイベント（すなばを通じた教育、県民の砂丘魅力再発見、砂丘ガイドの育成） ・鳥取砂丘特に西側エリア（多鯨ヶ池含む）の利活用を促進し、インバウンドを含めた観光の滞在につながるイベント
実施主体	団体等（非営利公益活動団体、地域住民組織、民間事業者、個人等）
補助率等	1年目：4/5 2年目：2/3 3年目：1/2 [補助年数上限] 3年間 [補助上限額] 1,000千円/年
予算額	6,800千円 ※鳥取市も同額を負担予定

【令和4年度 支援内容拡充（案）】

鳥取砂丘の4エリア（西側・東側・中央・多鯨ヶ池）のうち2エリア以上を活用し、周遊させる事業については連携推進枠として、支援を拡充する（補助上限額を150万円（現行：100万円））。

※鳥取市との連携協約を受け、鳥取砂丘未来会議で実施する「日本一のすなば」魅力まるごと事業補助金の制度拡充し、鳥取砂丘全体の周遊・滞在時間の延長を図る。

※なお、拡充（案）については、今後、鳥取市と調整し、鳥取砂丘未来会議に諮る予定。

(注) 起債欄の上段<>書きは、交付税措置額を除いた金額である。

備考欄の県費負担額は、起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

(3) 鳥取砂丘西側地区の受入環境整備

アフターコロナを見据えた公園利用者の受入環境の整備を進める。

(単位：千円)

区 分	内 容	予算額
鳥取砂丘西側整備	○自然環境整備交付金（国立公園）〔国庫 1/2〕 ・ 県休憩舎改修工事(67,503) ・ 県休憩舎展示工事(4,584) ・ 中国自然歩道支線設計、工事(12,900)	84,987
鳥取砂丘エリアサイン整備	○国立公園利用拠点滞在環境等上質化事業補助金〔国庫 1/2〕 ・ エリアサイン設置(7,000)	7,000
多鯰ヶ池自然探勝路整備	○国立公園利用拠点滞在環境等上質化事業補助金〔国庫 1/2〕 ・ 自然探勝路整備設計(3,600)	3,600
合 計		95,587

3 事業目標、取組状況、改善点

【事業目標】

鳥取砂丘周辺の受入環境の整備や景観の保全に取り組み、鳥取砂丘への来訪者の満足度を向上させる。

【取組状況・改善点】

- ・ 平成15年度から始まった鳥取砂丘イリュージョンは、冬季の観光素材として、冬の鳥取砂丘の風物詩となっている。
- ・ 鳥取砂丘の魅力向上の取組については、平成12年から鳥取砂丘新発見伝事業を行っており、県民主導のイベント展開で、砂丘の新たな魅力の認知・定着化を図り、一定の成果が出ているところ。砂丘の活用を時流に応じて高めていくこと、予算規模の見直し等が必要なことから、令和2年度に新たに「日本一のすなば」魅力まるごと事業を立ち上げた。
- ・ 鳥取砂丘東側で、環境省により鳥取砂丘ビジターセンターが整備され、鳥取県ではスロープ階段、公衆トイレの改修など、受入環境の整備を進めてきた。また、鳥取砂丘エリア国立公園利用拠点計画（令和2年2月策定）に基づき、官民連携して鳥取砂丘周辺の受入環境の整備とインバウンド促進に取り組んでいるところ。本年には、連携協約に基づく県市連携協議会を開催し、令和4年度に鳥取県・鳥取市それぞれで検討している鳥取砂丘西側整備事業などの取組について共有し、連携強化を確認した。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費 < 地方機関計上予算 >

東部地域振興事務所（電話：0857-20-3664）
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
東部地域振興・交流支援事業	3,597	3,597	0				3,597	
トータルコスト	11,483千円（前年度 11,518千円）〔正職員：1人〕							
主な業務内容	負担金・補助金交付業務、関係機関との調整・打合せ、協議会事業の実施等							
工程表の政策内容	○住民やNPO等の地域づくり活動や地域資源を活用した取組等を支援し、活動を推進する。 ○県東部地区の中山間地域やまちなか振興の課題について、市町や地域と連携して解決を図り、いつまでも暮らし続けることのできる持続的な地域づくりを進める。							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

東部地域において、地域資源を活用しながら地域の魅力創出を行い、交流・関係人口及び観光客の増加などにつながる活性化の取組を促進・支援する。

2 主な事業内容

事業名	目的	主な事業内容	予算額 (千円)	事業実施 主体
鳥取県岩美キッズトライアスロン支援事業	参加者等に地域住民との交流の場や地域の良さを体験する機会を提供し、山陰海岸ジオパークへの理解を深める。	【補助事業】 岩美キッズトライアスロン実施経費の支援	800	岩美キッズトライアスロン全国大会実行委員会
「幸せはこぶ福(29)ロード」事業	兵庫県と鳥取県の国道29号周辺地域の市町及び民間関係者等との協力と連携の下に、地域の振興と活性化を図る。	【負担金】 (1) 福ロード事業(300) 沿線地域の情報発信事業等の実施 【補助事業】 (2) ニク(29)ロード推進事業(707) ニク(29)ロードイベント等の実施	1,007	国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会
氷ノ山地域振興事業	氷ノ山を鳥取・兵庫両県一体の山として認識し、両県の当該地域の振興を図る。	【負担金】 (1) わかさ氷ノ山自然ふれあいの里活性化事業(1,500) 夏山開きや自然体験活動等地域活性化事業の実施 【補助事業】 (2) 氷ノ山県際交流推進事業(290) 「氷ノ山交流トレッキングツアー」の開催、両県一体マップの作成	1,790	わかさ氷ノ山自然ふれあいの里活性化協議会
合計			3,597	

※事業実施について、感染対策を徹底するなど新型コロナウイルス感染状況や社会情勢を踏まえて運用する。

3 事業目標・取組状況・改善点

○事業目標

東部地域の活性化を図るため、地域資源を活用した地域振興や交流人口増加につながる取組を支援する。

○取組状況等

(1) 鳥取県岩美キッズトライアスロン支援事業

当該大会は、平成23年度から山陰海岸ジオパークを舞台に、地元岩美町の支援を受けて開催されている。

R1年度の第9回大会の参加者は以下のとおり。

【個人の部】173名【リレーの部】51名(17チーム) ※うち県外から97名参加(13府県)

(R2～3年度は新型コロナの影響により開催は中止)

(2) 「幸せはこぶ福(29)ロード」事業

平成14年3月の兵庫・鳥取両県知事会議を契機に設立された「国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会」において、両県や周辺地域の市町、国土交通省河川国道事務所及び商工会等の民間関係者が連携し、地域の振興と活性化に係る情報発信事業やジビエ等の食材を活用した肉グルメのイベントである「1129(イイニク)感謝祭29(ニク)グルメ&ジビエフェア」及び「ニク(29)ロードスタンプラリー」を実施している。

(3) 氷ノ山地域振興事業

氷ノ山周辺地域において、夏山開き等の自然活用イベントや広報宣伝等を通じた集客促進や地域の活性化に取り組んでいる。また、平成24年3月の鳥取兵庫知事会議(若桜町)を契機に両県の県境を越えた交流事業を行っている。R1年度は、これまでの登山交流に代えて「氷ノ山交流トレッキングツアー」を行い、両県参加者によるイベント・交流が行われた。(R2～3年度は新型コロナの影響により交流事業は中止)

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費

東部地域振興事務所（電話：0857-20-3528）

1 目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
【廃止】東部 連携観光情報 発信事業	0	6,239	△6,239					
トータルコスト	0千円（前年度 22,081千円） [正職員：0人]							
事業内容の説明 当該事業は、令和3年度で終了する。 ○東部エリア周遊スタンプラリー ・次年度以降は、1市6町による実施を予定。								

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費 <地方機関計上予算>

中部総合事務所県民福祉局（電話：0858-23-3987）
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取中部ウォーキングリゾート推進事業	3,870	2,745	1,125	1,935			1,935	
トータルコスト	10,179千円(前年度 9,874千円) [正職員:0.8人]							
主な業務内容	事業企画・委託事務、補助金交付事務、関係機関との連絡調整							
工程表の政策内容	「ウォーキングリゾートとっとり」の推進に向けた人材育成、環境整備等の取組への支援を通じて国内外からの誘客を進め、観光振興と地域振興を図る。							

事業内容の説明 【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

県中部地区では、平成26年度に官民で「鳥取中部ウォーキングリゾート推進協議会」を組織し、鳥取県中部ならではの特徴を活かした地域づくりのコンセプトとして、健康、観光、環境、教育、交流をキーワードに「ウォーキングリゾートとっとり」の取組を推進している。
平成28年度に開催したワールド・トレイルズ・カンファレンス(WTC)鳥取大会の成果を継承しつつ、誰もが生き生きと健康に活躍する地域として国内外から多くの方々を訪れ、滞在し、交流する観光リゾートを目指す。

2 主な事業内容

(1) 鳥取中部ウォーキングリゾートコンシェルジュ育成事業(継続) 【250千円】

ウォーキングを年間を通じた観光素材とし、ウォーキングによる地域づくり、観光振興につなげるためコース案内やガイド、ウォーキング指導が行える人材を育成するための研修会を開催する。

区分	内容
委託先	民間等
委託内容	・コンシェルジュ育成研修計画の作成 ・研修会の企画、運営 等

(2) 鳥取中部ウォーキングリゾート推進補助金(継続) 【840千円】

ウォーキングによる観光振興、地域振興を図るため、地域一体となってウォーキングに親しめる環境を整備するための活動に要する経費を支援する。

区分	内容
事業主体	中部5市町、市町観光協会等
補助上限額・補助率	500千円(1/2)
対象経費	・誘客プロモーション費用 ・コースの広報宣伝に係る費用 など

(3) 外国人ウォーカー誘客促進補助金(継続) 【600千円】

海外からの鳥取中部で開催されるウォーキング大会へのウォーカー誘客を図り、ウォーキングによる鳥取中部の観光振興、地域振興を一層推進するため、民間団体が行う海外プロモーション活動を支援する。

区分	内容
事業主体	中部地区でウォーキングイベントを開催する民間団体
補助上限額・補助率	600千円(10/10)
対象経費	・招聘旅費、海外渡航費、現地での広報宣伝費、Webシステムでのプロモーション経費

(4) SUN-IN未来ウォーク開催支援(新規) 【1,000千円】

全国規模の本県を代表するウォーキング大会の開催を支援し、ウォーカー誘客の促進とウォーキングリゾートを推進する。(令和元年度まで補助金(1,000千円)により開催支援していたもの。)

区分	内容
事業主体	中部地区でウォーキングイベントを開催する民間団体
補助上限額・補助率	1,000千円(10/10)
対象経費	・大会運営費、広報宣伝費等

(5) 鳥取中部ウォーキングリゾートデジタル化推進事業(新規) 【1,180千円】

国内外から多くの方々を訪れ、滞在し、交流する観光リゾート化を実現するため、ウォーキングコースのデジタル化を推進し、中部圏域の観光資源との連携を図る。

区分	内容
委託先	地域連携DMO
委託内容	・デジタルマップへのコース登録、SNS広告、コース利用促進のための企画・実施等

3 事業目標・取組状況・改善点

○事業目標

- 「ウォーキングリゾートとっとり」の取組を推進し、国内外から多くの方々を訪れ、滞在し、交流する観光リゾートを目指す。
- ウォーキングを利用したコース案内やガイド、ウォーキング指導が行える人材育成
- 地域一体となってウォーキングに親しめる環境の整備
- 海外プロモーション活動による誘客促進活動の支援、ウォーキングイベントの開催を支援

○取組状況

- コンシェルジュ育成研修修了者 (R3:各市町平均4.2名→R7:各市町10名以上)
- 常設ウォーキングコース数 (R3:46コース→R7:56コース)

○改善点

- 新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される場合は、リモート形式等を活用した取組を検討する。
- ウォーキングコースをデジタル化し、インバウンド対応、周辺施設の利用促進を図る。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費 < 地方機関計上予算 >

中部総合事務所県民福祉局（電話：080-5622-3988）
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取中部広域観光連携推進事業	18,394	18,394	0				18,394	
トータルコスト	32,589千円（前年度 32,652千円） [正職員：1.8人]							
主な業務内容	補助金事務（審査・検査等） 事業計画立案に係る企画調整、広域連合との連携、団体支援及び市町等との調整等							
工程表の政策内容	観光の振興							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

鳥取中部ふるさと広域連合（以下「広域連合」という。）が策定した「鳥取中部広域観光ビジョン」に沿って中部圏域の観光を発展させるため、広域連合と連携して鳥取中部観光推進機構を支援し、広域観光を推進する。

2 主な事業内容

(1) 鳥取中部圏域広域観光連携推進事業（継続）【15,000千円】

広域連合が鳥取中部観光推進機構に委託して実施する広域観光推進事業に要する経費の一部を補助する。

区分	内容
事業主体	鳥取中部ふるさと広域連合
補助対象	県政推進と密接に連携した鳥取中部圏域の広域観光振興を図るための事業
補助上限額・補助率	15,000千円（1/2）
実施方法	事業計画は県も参画して広域連合が作成し、県の誘客施策と連携の上、効果的に事業実施する。

(2) 県職員の駐在に要する経費（継続）【500千円】

鳥取中部圏域広域観光連携推進事業において、県との連携、情報共有を効果的に行うため、職員を広域連合に駐在させるための経費。（パソコン賃借料、光熱水費、電話料、コピー代等）

(3) 桜杯争奪相撲選手権大会支援（継続）【500千円】

郷土出身の第53代横綱琴櫻（先代佐渡ヶ嶽親方：倉吉市出身）を顕彰し、全国から小・中学生を迎える中国地方でも有数の相撲大会の開催を支援する。

区分	内容
事業主体	桜相撲振興協議会
補助対象	広告宣伝費、全国大会への選手派遣経費
補助上限額・補助率	400千円（1/2）
その他	記念品の購入のための報償費（100千円）

(4) 活動経費【2,394千円】（標準事務費）

中部圏域の地域資源を活用した観光（コンテンツツーリズム、文化ツーリズム、アウトドアツーリズム等）、広域観光等について、地元住民及び地元自治体等と連携して推進するための活動経費

3 事業目標・取組状況・改善点

○事業目標

第2次鳥取中部広域観光ビジョンで定める令和5年の目標数値は、観光入込客数2,500千人（基準値（平成29年）の35%増）、宿泊数（入湯客）は600千人（基準値の13%増）、外国人宿泊者数は50千人（基準値の123%増）。

○取組状況

- ・県の観光担当職員が広域連合に駐在して、広域連合と連携。「鳥取中部広域観光ビジョン」達成のため、鳥取中部広域観光戦略会議において取組の方向性や戦略を協議・検討し「癒しの鳥取中部」を情報発信。旅行商品の開発・プロモーション等を行い、圏域を超えた魅力創出と魅力発信、広域誘客に取り組んでいる。
- ・中部圏域が有している温泉、食、日本遺産、ウォーキングリゾート、国立公園等の観光資源をベースに東・西部圏域、岡山県北部（蒜山）とも連携した観光地域づくりを進め、一元的に情報発信するなど日本版DMOの強化等を図っている。

○改善点

観光情報のデジタル基盤の整備を推進し、観光客のニーズに合う情報を提供することにより観光誘客と圏域内の周遊性、滞在性の促進を図り、圏域内消費の拡大につなげる。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費 < 地方機関計上予算 >

西部総合事務所県民福祉局 (電話: 0859-31-9364)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
大山山麓・日野川流域観光推進事業	27,760	29,926	△2,166	8,750			19,010	
トータルコスト	73,344千円 (前年度 79,036千円) [正職員: 5.6人、会計年度任用職員: 0.5人]							
主な業務内容	事務局運営、予算・決算管理、イベント実施、情報発信、市町村や民間関係者との調整等							
工程表の政策内容	西部圏域の広域観光連携の推進							

事業内容の説明 【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

大山・日野川圏域のブランド化による「稼ぐ地域」の形成を通じた持続可能な観光地域づくりを目指して、広域・低密度・収益型ツーリズムを推進し、圏域での広域連携・官民連携をさらに発展させていく取組を実施することで、圏域一体となった観光・地域振興を図る。

2 主な事業内容

【負担先】大山山麓・日野川流域観光推進協議会 (県西部9市町村、倉吉市・琴浦町及び県で構成)

(1) 新ブランド創出・高度化事業 17,500千円 [国交付金充当事業]

- ブランド創出や広域・圏域間連携等に関する取組を支援し、圏域ブランドの確立及び誘客促進を図る。
- 一般観光客に加え「関係人口」(中長期または反復継続的な滞在者)を含む幅広い層の滞在促進に取り組む。
- 観光誘客取組における「新しい生活様式」対応のため、参加人数枠の設定や分散化等を継続推進する。

(単位: 千円)

区分	内容	予算額
新ブランド創出事業	1～2市町村が行う観光ブランドの創出・PR事業に対する支援 [想定] ツアー商品化、歴史・文化、エコツアー	0 (※R4～市町村負担)
広域連携事業 (県1/3)	3市町村以上が連携して行う誘客・PR事業に対する支援 [想定] サイクリング誘客・PR	500
圏域間連携・県外連携事業 (県1/2)	県西部圏域と隣接圏域または県外地域が連携して行う観光PR・誘客事業に対する支援 [想定] 刀剣・たたら、サイクリング	2,000
関係人口創出・拡大事業 (県1/2)	モニターツアー実施、地域外イベント参加、外部専門家の派遣、検討会議・研修会開催等	3,000
地域収益向上事業 (県1/2)	観光推進の取組と連携した個別店舗・事業者の収益向上の取組等に関する外部専門家の派遣、検討会議・研修会開催等	500
関係人口・地域収益モデル確立支援事業 (県1/2)	民間事業者による「関係人口×観光×収益向上」を実現するためのモデル的な取組を支援 (1件1,000千円×5件)	2,500
広域観光・交流共通基盤事業 (県1/2)	広域観光商品造成・推進、メディアプロモーション、観光専門人材育成、受入環境整備	8,250
広域体制整備検討事業(県1/2)	協議会のあり方検討に向けた検討会議・研修会開催等	750
計		17,500 (国庫8,750)

(2) 広域連携推進事業 10,260千円

- 広域周遊イベントや二次交通整備等、圏域に定着している広域観光事業を支援し、持続的な観光誘客体制の整備を図る。

(単位: 千円)

区分	内容	予算額
広域周遊・イベント事業 (県1/2ほか)	圏域に定着した観光周遊事業等の支援 (「大山山麓の謎解き宝探し」等)	5,000
大山山麓・日野川流域魅力向上補助金 (県1/2)	圏域内の魅力向上、誘客促進、人材育成に資する草の根の取組を支援 (1件200千円×5件)	500
二次交通整備推進部会負担金 (定額)	周遊タクシー、定額タクシーの運行支援	2,860
事務局経費 (定額)	ホームページ管理運営等の経常経費	1,900
計		10,260

3 事業目標・取組状況・改善点

○事業目標

大山・日野川圏域のブランド化による「稼ぐ地域」の形成を通じた持続可能な観光地域づくり

○取組状況

H29年4月～R1年11月・・・伯耆国「大山開山1300年祭」

H31年4月～・・・大山山麓・日野川流域観光推進協議会の設立により新たな体制を整備し、広域観光連携に継続的に取り組む。

○改善点

1300年祭期間中は官民で連携して集中的に観光イベント等を実施したが、R2年度以降は実施する事業を厳選し、R3年度からは新たな地方創生推進交付金計画 (R3～5) を策定して「関係人口」の創出・拡大の取組を開始するなど、持続可能な広域観光推進体制の整備に取り組んだ。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費

西部総合事務所県民福祉局（電話：0859-31-9372）

1 目 観光費 < 地方機関計上予算 >

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
大山中海振興費	5,454	5,454	0				5,454	
トータルコスト	14,607千円（前年度 14,623千円）〔正職員：0.8人、会計年度任用職員：1人〕							
主な業務内容	大山寺参道整備に対する支援、その他（西部圏域観光推進に係る業務）							
工程表の政策内容	とっとりスタイルエコツーリズムの推進、スポーツツーリズムの推進							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>大山寺参道の施設整備に対する支援、西部管内における国際リゾート推進に向けた観光情報の収集及び発信等を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 大山寺参道にぎわい活性化事業補助金 (H29～R8) 令和4年度分 2,893千円</p> <p>(2) 標準事務費 2,561千円</p> <p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <p>大山寺参道の足湯整備、にぎわい活性化等、観光客にとって、より地域の魅力を享受しやすい環境整備を進めてきた。今後も西部管内の国際リゾート化に向けた取組を実施する。</p>								
【廃止】皆生温泉開発100周年記念事業	0	1,451	△1,451					
トータルコスト	0千円（前年度 1,451千円）〔正職員：0人〕							
事業内容の説明								
令和3年度単年度事業により終了する。								

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

国際観光誘客課（内線：7629）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
新型コロナから立ち上がるインバウンド観光促進事業	401,528	221,554	179,974				401,528	
トータルコスト	482,754千円（前年度 303,140千円）〔正職員：10.3人〕							
主な業務内容	外国人観光客誘致、国際定期便利用促進、国際航空便就航促進等							
工程表の政策内容	航空路線の利便性の向上、外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

新型コロナウイルス収束後の海外渡航規制緩和、インバウンド需要回復を見据え、国際定期便の安定的運航や国際チャーター便を含む新規路線の誘致を推進する。

また、外国人観光客誘致を促進するため、東アジア主要市場（韓国、中国、香港、台湾）や訪日観光客需要の伸び率が高い東南アジア市場、長期滞在が見込まれる富裕層をはじめとする欧米豪市場向けなど、多角的に従来からの団体旅行対策に加え、密になりにくい個人・小グループ旅行対策にも力点を置きつつ、航空会社や旅行会社、現地メディア等と連携したプロモーションに取り組む。

2 主な事業内容

（単位：千円）

	区分	事業内容	予算額
1	国際便運航支援	国際定期便の安定的運航や国際チャーター便を含む新規路線誘致を推進するため、各航空会社への着陸料等の運航経費や旅行会社へのPR経費等を支援するとともに、国際定期便利用促進協議会と連携して国際定期便の利用促進を図る。	215,228
2	誘客プロモーション	新型コロナウイルス収束後の本県への誘客を図るため、航空会社・旅行会社等と連携したプロモーション、情報発信等を推進する。 ・オンラインツールを活用したプロモーション（リモート商談会・旅行博、オンラインツアー） ・SNS等を活用した安心安全情報発信（Facebook、Instagram、YouTube等） ・OTA（インターネットで取引を行う旅行会社）と連携した鳥取県特設ページ開設、バナー広告 ・地域の観光体験や住民交流等を通じた魅力発信 等	155,300
3	海外駐在員等配置	韓国・香港・台湾人駐在員の配置、上海現地事務所の設置（現地での情報収集、旅行会社への情報提供、SNS情報発信、旅行博出展等）	31,000

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 米子鬼太郎空港発着の国際定期便の路線拡大、積極的な海外プロモーション等の効果により、平成30年の外国人延べ宿泊者数は約19.5万人を達成したが、令和元年以降、国際情勢や新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界的な海外渡航規制の影響により、大幅な落ち込みとなっている。

(2) このような中、これまでの鳥取県ファンを維持しつつ、新規顧客を獲得するために、国・地域ごとの新型コロナウイルスの収束状況を見極めながら、SNSを活用した情報発信を継続的に実施するとともに、航空会社・旅行会社等とのWeb会議による情報交換、オンライン商談会への参加等のプロモーション活動、国内在住外国人向けの情報発信等に取り組んでいる。

【各市場での主な取組】

韓国	エアソウルと連携した鳥取上空を飛行する無着陸遊覧飛行機内やエアソウル機内を再現したソウル市内カフェでの本県PRのほか、韓国最大の物産展「メガショー」と同時開催された旅行博「トラベルショー」出展や韓国メディア・インフルエンサーを対象としたオンライン酒蔵ツアーを実施し、本県の観光情報発信に取り組んだ。
香港	香港の大学と連携してオンラインを活用した和傘製作体験イベントを開催したほか、香港で最も来場者の多い一般消費者向けイベント「香港ブックフェア」において、日本政府観光局と連携し、現地と鳥取県の観光地を結んだオンライン中継を実施し、本県の観光情報の発信に取り組んだ。
中国	「2021 国際冬季運動（北京）博覧会」（ウインタースポーツ博覧会）において、「海に見えるゲレンデ」大山をPRしたほか、江蘇省蘇州市及び浙江省寧波市の日系商業施設で開催されたジャパンプランドへの出展、島根県と連携して両県のゆるキャラや観光地、米子上海便の情報をSNSで発信するとともに、中国最大手のOTAサイトで山陰特集ページを掲載するなどの情報発信に取り組んだ。
台湾	旅行会社と連携した現地での観光PRイベント、航空会社と連携しオンラインでの観光情報説明会、教育関係者向けのオンラインセミナーの開催及びSNSでの情報発信などを継続的に実施し、知名度向上を図った。 併せて鳥取－台湾ファンクラブや台湾旅行社で構成される鳥取応援団の設立など定期便化に向けた機運醸成も図られた。
東南アジア	東南アジアターゲット市場（タイ・シンガポール・ベトナム・マレーシア・インドネシア・フィリピン）の旅行社・メディアに対して本県の旬の観光情報等を掲載したニュースレターを毎月配信した。
欧米豪露	欧米豪露の旅行社・メディアに対して、本県の旬の観光情報等を掲載したニュースレターを毎月配信するとともに、本県の観光地としての認知度向上、旅行商品造成につなげるため、旅行会社向けのオンライン商談会・セミナーや一般向けのオンライン日本博（英国）に出展した。

(3) 引き続き、ウィズコロナ・ポストコロナに即した誘客活動を展開し、国際定期便の運航再開・安定運航や新規路線の就航を通じて、外国人観光客の回復を図るとともに、快適に旅行できる受入環境整備ときめ細やかな魅力の発信を通じて、訪問客の滞在時間増・消費額増大につなげ、持続可能なインバウンド受入体制を構築していく。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

国際観光誘客課（内線：7629）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)アフターコロナ 新しい旅のスタイル 推進事業	110,000	0	110,000	110,000				
トータルコスト	132,559千円（前年度 0千円）[正職員：2.5人、会計年度任用職員1.0人]							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整等							
工程表の政策内容	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							
事業内容の説明 【「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」充当事業】								
1 事業の目的・概要								
<p>新型コロナウイルス収束後、本県への外国人観光客の誘客を強力に促進していくためには、鳥取らしい魅力ある新たな旅のスタイルを提案し、差別化を図っていくことが重要である。</p> <p>インバウンドの早期受入が見込まれる主要空港（関空・羽田等）からの誘客対策や、小人数分散型ツアーに対応した補助メニューの創設、長期滞在が見込める欧米等海外富裕層誘客対策、食の多様化による誘客促進など、新たな旅のスタイルを提案することで誘客促進を図っていく。</p>								
2 主な事業内容								
（単位：千円）								
	区分	内容						予算額
1	主要空港（関空、羽田等）からの誘客促進事業	SNS等で情報発信することを条件に、海外旅行社が造成する旅行商品の購入者に対し県内宿泊代の一部を支援することで主要空港からの誘客促進を図る。						30,000
2	小人数分散型ツアー造成支援事業（外国人観光客送客促進事業補助金の制度改正）	3密を避けた小人数旅行を中心とした新たな旅行スタイルに応じた旅行商品造成を支援する補助制度を整備する。 ＜新設メニュー例＞ タクシー・レンタカー借上げ経費やツアー実施前のPCR検査費用の一部						57,000
3	長期滞在が見込める海外富裕層誘客事業	長期滞在が見込める欧米等の海外富裕層の誘客を促進するため、現地旅行社と連携して、観光情報説明会やオンライン商談会の開催、SNSでの情報発信等を実施する。						20,000
4	食の多様化推進事業	外国人観光客の中には、健康的・宗教的、アレルギー等の理由で食に制限を持つ方が増加しており提供側の工夫が求められている。ベジタリアン等のモニターツアーやセミナーなどを通じて県内宿泊施設等で食の多様化への対応力を高め、新たな客層とリピーター獲得に取り組む。						3,000
合計							110,000	
3 事業目標・取組状況・改善点								
<p>新型コロナウイルスの感染拡大以降、新たな取組としてオンライン中継による観光セミナーの実施や在留外国人による取材等で海外へ情報を発信している。</p> <p>アフターコロナにおいては、他地域とは違う魅力的なツアーを造成するなど新たな旅のスタイルを提案することで誘客促進につなげていく。</p>								

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

国際観光誘客課（内線：7629）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) デジタル技術を用いた外国人観光客受入環境整備事業	24,000	0	24,000	24,000				
トータルコスト	29,520千円（前年度 0千円）〔正職員：0.7人〕							
主な業務内容	外国人観光客受入環境整備、関係機関との連絡調整等							
工程表の政策内容	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明 【「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

新型コロナ収束後の外国人観光客受入に向けて、デジタル技術を用いた宿泊施設等の受入環境整備や本県の魅力を体感できるコンテンツ造成を行うことで外国人観光客が快適に旅行できる環境整備を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内容	予算額
1 外国人観光客受入環境整備補助金	<p>県内宿泊事業者にデジタル技術を活用した受入環境整備支援を行う。</p> <p>＜事業主体＞ 県内宿泊事業者 ＜補助率＞ 1/6 ※対象は観光庁 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業補助金採択（補助率1/3）事業者 ＜件数＞ 県東中西部で各5施設程度 ※事前に先進事例研修会で知見習得、個別相談等を実施。 ＜デジタル化による受入環境整備（例）＞ ・非接触決済システムの導入 ・パスポートスキャンシステム導入 ・三密回避のための人感センサー設置 ・多言語対話用タブレット端末整備 等</p>	8,000
2 VR技術を用いた仮想鳥取県体感事業	<p>訪日外国人に人気の鳥取の魅力を感じることができる体験メニューや観光地のVRコンテンツ（多言語）化を行い、海外に居ながら仮想鳥取県のアクティビティ体験ができる環境を整えることで外国人観光客の新型コロナ収束後の本県訪問を促進する。</p> <p>＜外国人に人気の体験メニュー（例）＞ ・鳥取砂丘サンドボード ・梨狩り体験 ・大山ダウンヒル 等 ＜主な活用方法＞ ・海外旅行会社と連携したオンラインツアー ・海外旅行博での仮想鳥取県体験</p>	16,000
合計		24,000

3 事業目標・取組状況・改善点

全世界的な海外渡航規制の影響により、外国人観光客が来県できない状況であるが、これまでの鳥取県ファンを維持し、新規顧客を獲得するためにSNS等への情報発信を継続的に実施するとともに、航空会社・旅行会社等とのWeb会議による情報交換、オンライン商談会等への参加等のプロモーション活動を実施し、県内観光施設等へのWi-Fi環境整備や外国語看板設置支援のほか、多言語電話通訳サービスの提供など外国人観光客受入環境の整備に取り組んでいる。

アフターコロナの旅行形態では3密回避や非接触型旅行などの行動変容が起こることが見込まれることから、デジタル技術を用いた施設受入環境整備や海外に居ながら鳥取県を体験できるコンテンツの開発・活用等に取り組んでいく。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
3 項 観光費
1 目 観光費

国際観光誘客課 (内線：7310)
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際観光推進費	57,760	63,971	△6,211				57,760	
トータルコスト	64,069千円 (前年度 64,174千円) [正職員：0.8人]							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策内容	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

新型コロナウイルス感染症収束後の海外渡航規制の緩和、インバウンド需要の回復を見据え、観光産業の振興及び県内発着の国際定期便などの国際交通基盤の維持・発展に寄与するため、東京、関西、近隣各県や海外地方政府、民間事業者と連携した外国人観光客の誘客活動や多言語ホームページ・SNSの活用による情報発信等を実施する。

2 主な事業内容

(1) 補助金 (単位：千円)

区分	内容	予算額
外国人観光客倍増促進補助金	1 事業実施主体 県内観光事業者等 2 補助対象事業 (1) 外国人観光客誘致推進事業 (補助率1/2) 海外に向けた誘客活動等 (2) SDGs ツーリズム推進事業 (補助率1/2) SDGs をテーマとした観光コンテンツに係る外国人観光客の受入環境の自主的な整備及び海外に向けた誘客活動等	800
外国人観光客誘致対策補助金	1 事業実施主体 国際定期便利用促進協議会 2 補助対象事業 国際定期便利用促進協議会が実施する外国人観光客誘致対策事業 (米子空港を発着する国際定期便を利用して送客する旅行会社に対し、県内宿泊日数に応じて補助を行う) ※1泊につき1千円/人 (往復とも定期利用の場合)	1,600
インバウンド向けオンラインコンテンツ制作等支援事業補助金	1 事業実施主体 県内観光事業者等 2 補助対象事業 オンラインツアー、動画素材作成等を支援する。(補助率1/2)	1,000
合計		3,400

(2) 補助金以外 (単位：千円)

区分	内容	予算額
広域連携国際観光推進事業負担金	中国5県や関西地域、東京都など他の地域と連携した外国人観光客誘致事業を行う広域組織への経費負担。 ア 中国地域観光推進協議会負担金 (5,550千円) イ 京都・兵庫・鳥取三府県連携事業負担金 (1,000千円) ウ 関西国際空港内広域観光案内推進協議会への負担金 (800千円) エ 東アジア地域政府観光フォーラム負担金 (1,300千円) オ JNTO負担金 (640千円) カ 東京・中国四国連携外国人旅行者誘致事業負担金 (820千円) キ 山陰・瀬戸内・四国ドライブキャンペーン負担金 (500千円)	10,610
IR西日本との連携事業(負担金)	IR西日本、中国四国各県等と連携し、東アジア及び東南アジア市場へ誘客プロモーションを行う。	5,065
国際観光案内体制の整備(委託料)	米子空港の観光案内所にソウル便、香港便、上海便に対応した案内人を設置する。	3,218
おもてなしの充実(委託料)	県内空港等でのチャーター便歓迎対応を実施 (歓迎対応運営委託)	700
メールを活用した通訳案内士等による多言語観光ガイド業務(委託料)	外国人個人旅行者 (FIT) の利便性向上を図るため、メールを活用した通訳案内士等による多言語観光ガイドの整備に取り組む。	1,021
海外向け情報発信(委託料)	海外向け多言語観光ホームページ維持管理委託費及び観光施設等の安心安全情報PR等を行う。	5,000
標準事務費		28,746
合計		54,360

3 事業目標・取組状況・改善点

インバウンド需要の回復を見据えながら、東京、関西、近隣各県や海外地方政府、民間事業者等の関係機関と連携し、各市場への効果的な情報発信や広域周遊の促進、ホームページなどのPRツールの充実を図り、本県の魅力や安全・安心な観光地であることを発信し、外国人観光客の回復を図る。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

国際観光誘客課 (内線: 7629)
 (単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
【廃止】外国人観光客誘客促進事業	0	28,500	△28,500					
トータルコスト	0千円 (前年度33,718千円)							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、補助金業務							
工程表の政策内容	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							
事業内容の説明								
令和4年度はアフターコロナ新しい旅のスタイル推進事業及び国際観光推進費に組み替えて実施する。								
【廃止】新たなインバウンド層の誘致促進事業	0	1,000	△1,000					
トータルコスト	0千円 (前年度6,084千円)							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整							
工程表の政策内容	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							
事業内容の説明								
令和4年度は新型コロナから立ち上がるインバウンド観光促進事業及び国際観光推進費に組み替えて実施する。								

令和4年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課(内線:7122)

1目 企画総務費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
(新)モンゴル中央県友好交流25周年記念事業	4,226	0	4,226				4,226													
トータルコスト	8,169千円(前年度 0千円) [正職員:0.5人]																			
主な業務内容	関係機関との連絡調整、情報収集及び資料作成、当日対応・随行・通訳等																			
工程表の政策内容	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>鳥取県とモンゴル中央県は平成9年に友好交流覚書に調印し、令和4年に25周年を迎えることから、周年を契機に両県の交流の絆をより一層深めるため、相互に代表団を派遣するなどの記念事業を開催する。</p>																				
<p>2 主な事業内容 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 鳥取県開催 (中央県団の受入れ)</td> <td>記念式典、関連イベント(鳥取県モンゴル中央県親善協会との交流会、交流のあゆみパネル展等) [時期] 秋頃 [来県者] 行政団、青少年団</td> <td>2,691</td> </tr> <tr> <td>2 中央県開催 (鳥取県団の派遣)</td> <td>記念式典、関連イベント(現地日本語学級生徒との交流会、交換図書の展示、鳥取県文化体験会等) [時期] 秋頃 [団員] 行政団、青少年団、親善協会団</td> <td>1,535</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>4,226</td> </tr> </tbody> </table>									区分	内容	予算額	1 鳥取県開催 (中央県団の受入れ)	記念式典、関連イベント(鳥取県モンゴル中央県親善協会との交流会、交流のあゆみパネル展等) [時期] 秋頃 [来県者] 行政団、青少年団	2,691	2 中央県開催 (鳥取県団の派遣)	記念式典、関連イベント(現地日本語学級生徒との交流会、交換図書の展示、鳥取県文化体験会等) [時期] 秋頃 [団員] 行政団、青少年団、親善協会団	1,535	合計		4,226
区分	内容	予算額																		
1 鳥取県開催 (中央県団の受入れ)	記念式典、関連イベント(鳥取県モンゴル中央県親善協会との交流会、交流のあゆみパネル展等) [時期] 秋頃 [来県者] 行政団、青少年団	2,691																		
2 中央県開催 (鳥取県団の派遣)	記念式典、関連イベント(現地日本語学級生徒との交流会、交換図書の展示、鳥取県文化体験会等) [時期] 秋頃 [団員] 行政団、青少年団、親善協会団	1,535																		
合計		4,226																		
<p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <p>平成9年の友好交流覚書締結以降、農業(研修員受入、専門家派遣)と医療(専門家派遣)の分野を中心に交流を行ってきた。25周年を記念して、相互に訪問団派遣及び記念事業を開催し、これまでの交流事業を振り返るとともに、中央県との交流の絆を一層深める。なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、可能な限りリモート交流などの代替事業を実施する。</p>																				
(新)ブラジル鳥取県人会創立70周年記念事業	4,069	0	4,069				4,069													
トータルコスト	6,435千円(前年度 0千円) [正職員:0.3人]																			
主な業務内容	関係地域との連絡調整、情報収集及び資料作成、派遣訪問団への随行、通訳等																			
工程表の政策内容	国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>サンパウロ市内で開催されるブラジル鳥取県人会創立70周年式典に参加するため訪問団を派遣する。</p>																				
<p>2 主な事業内容</p> <p>○ブラジル鳥取県人会創立70周年記念式典への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日 令和4年11月20日(予定) ・場所 ブラジルサンパウロ市内 ・訪問者 行政団4名程度、議会団4名程度 ・訪問日程 7日間程度 ・その他 第二アリアンサ鳥取村住民及び日本語学校生徒との交流会、ブラジル鳥取県人会との交流会 																				
<p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <p>昭和53年のブラジル移住70周年記念式典に鳥取県訪問団が訪伯したのを機に、各周年記念式典に訪問団を派遣し現地で交流の機会を設けてきた。ブラジル鳥取県人会創立70周年においても鳥取県訪問団を派遣し、県人会関係者との交流を通して海外移住の歴史的意義を再認識するとともに、今後の交流の更なる深化を目指す。なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、可能な限りリモート交流などの代替事業を実施する。</p>																				

令和4年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課(内線:7842)

1目 企画総務費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第26回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット参加事業	1,250	1,250	0				1,250	
トータルコスト	10,713千円(前年度 10,755千円)[正職員:1.2人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、情報収集及び資料作成、実務代表者会議及び本会議への参加							
工程表の政策内容	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>本県と本県の友好交流先である韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方及びモンゴル中央県の首長が一堂に会し、各地域の共同発展、繁栄を話し合うため、中国吉林省で開催される「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」に鳥取県代表団を派遣する。</p>								
<p>2 主な事業内容</p> <p>(1)北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットへの参加(10月想定・吉林省開催)</p> <p>(2)実務代表者会議(サミット事前準備会合)への参加(6月想定・吉林省開催)</p>								
<p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <p>鳥取県、韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方を構成員として平成6年から開催している(平成12年からモンゴル中央県が参加)。北東アジア地域の課題解決及び発展のため、経済、環境等の多分野において相互連携・協力を図ることとし、これまで、環日本海航路、米子ーソウル便の利用促進に対する相互協力等について合意するなど各分野での相互連携、協力の契機となっている。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインにより開催した。</p>								
多地域連携スポーツ交流事業	2,552	2,552	0				2,552	
トータルコスト	5,706千円(前年度 5,720千円)[正職員:0.4人]							
主な業務内容	関係地域との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料の翻訳、派遣者への随行、通訳等							
工程表の政策内容	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの合意事項に基づき、友好交流地域が開催するスポーツイベントへの参加等を通じ、多地域間の青少年の交流や相互協力の拡大を図る。</p>								
<p>2 主な事業内容</p> <p>3地域(鳥取県、韓国江原道、ロシア沿海地方)青少年スポーツ交流事業 バドミントン及び卓球のスポーツ交流(場所:江原道、16名程度)</p>								
<p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <p>北東アジア地域において国際的なスポーツイベントが続くことから、スポーツを切り口とした地域振興や青少年交流に積極的に取り組んでいる。今後も友好交流地域間でスポーツを通じた青少年交流と相互協力の拡大を図っていく。なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大により令和4年度へ延期となった。</p>								

令和4年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

交流推進課(内線:7240)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ロシア極東地域交流推進事業	3,821	3,821	0				3,821	
トータルコスト	19,593千円(前年度 19,663千円)[正職員:2.0人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、情報収集及び資料作成、派遣・受入れの当日対応							
工程表の政策内容	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
ロシア極東地域との交流を推進するため、「青少年交流」「交流地域での鳥取県PR」「県民向けのロシア紹介」を柱とする取組を実施する。令和4年度は、経済交流の進みつつあるサハ共和国との人的交流を進めるため、文化交流団を派遣する。								
2 主な事業内容								
内容				時期	人数			
1	沿海地方バスケットボール交流団の受入れ			7月頃	13名程度			
2	沿海地方青少年環境交流団の受入れ			8月頃	10名程度			
3	ロシア極東柔道交流団の受入れ			8月頃	10名程度			
4	第11回鳥取県文化デイズ			10月頃	2名程度			
5	ロシア極東囲碁交流団の受入れ			11月頃	12名程度			
6	ロシア極東地域日本語履修者交流団の受入れ			3月頃	8名程度			
7	ドラゴンカヌー交流団の沿海地方派遣			7月頃	12名程度			
8	サハ共和国文化交流事業			9月頃	5名程度			
9	オンライン囲碁交流			秋頃	20名程度			
3 事業目標・取組状況・改善点								
これまでロシア極東地域において多分野の交流事業を実施し、本県の認知度は非常に高まってきている。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で相互往来ができなかったが、オンラインを活用した漫画・柔道・囲碁交流等を実施した。令和3年1月～4年12月は日露政府間で定めた「日露地域交流年」でもあり、再開された日露知事会議等両国間で新たな動きが生まれていることを背景に本県もより一層の交流発展を図る。なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、可能な限りリモート交流などの代替事業を実施する。								
韓国交流推進事業	5,461	5,461	0				5,461	
トータルコスト	21,233千円(前年度 21,303千円)[正職員:2.0人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、情報収集・資料作成、派遣・受入れの当日対応							
工程表の政策内容	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
韓国江原道との交流を推進するため、本県及び江原道の職員の相互派遣等を通じた様々な分野における情報交換や江陵国際青少年芸術祝典への青少年団の派遣等を行う。併せて、琴浦町の日韓友好資料館の展示運営を支援するとともに、韓国語学習者の発表大会を開催する。								
2 主な事業内容 (単位:千円)								
内容				時期	予算額			
1	江原道職員(1名)の受入れや交流協議団の相互派遣等			通年	3,665			
2	江陵国際青少年芸術祝典への青少年団(10名程度)の派遣			7月下旬	456			
3	琴浦町日韓友好資料館企画運営委員会への助成(琴浦町と同額負担)			通年	200			
4	「話してみよう韓国語」鳥取大会開催			12月頃	1,140			
5	大学生オンライン交流			未定	標準事務費			
6	相互派遣職員のオンライン交流			未定	標準事務費			
計					5,461			
3 事業目標・取組状況・改善点								
これまで江原道と多分野の交流事業を実施し、相互理解の促進並びに人的ネットワークの構築に寄与している。令和3年度は、大学生や相互派遣職員のオンライン交流など、オンラインを活用した交流を実施した。令和4年度もこれまでの交流の積み重ねを基礎とし、一層の交流発展を図る。なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、可能な限りリモート交流などの代替事業を実施する。								

令和4年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課(内線:7122)

1目 企画総務費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																									
中国交流推進事業	5,380	3,880	1,500				5,380																									
トータルコスト	13,266千円(前年度 11,801千円)[正職員:1.0人]																															
主な業務内容	関係機関との連絡調整、情報収集及び資料作成、受入期間中の対応																															
工程表の政策内容	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進																															
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>中国との交流を推進するため、友好交流地域である吉林省及び河北省並びに米子鬼太郎空港に定期便が就航している上海市・香港と、青少年・民間交流を実施する。</p>																																
<p>2 主な事業内容 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吉林省県費留学生受入事業</td> <td>県内大学へ留学生受入れ・奨学金支給、県内大学生派遣</td> <td>3,880</td> </tr> <tr> <td>吉林省青少年交流事業</td> <td>相互に派遣・受入れ。令和4年度は県内高校生を派遣</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>河北省青少年交流事業</td> <td>相互に派遣・受入れ。令和4年度は河北省高校生を受入れ</td> <td>標準事務費</td> </tr> <tr> <td>上海市青少年・民間交流事業</td> <td>高校間及び民間団体間で交流を実施</td> <td>標準事務費</td> </tr> <tr> <td>香港青少年交流事業</td> <td>香港の高校生を受け入れ、県内高校生との交流を実施</td> <td>標準事務費</td> </tr> <tr> <td>青少年オンライン交流事業</td> <td>県内学校と交流地域間でオンライン意見交換等を実施</td> <td>標準事務費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>5,380</td> </tr> </tbody> </table>									事業名	内容	予算額	吉林省県費留学生受入事業	県内大学へ留学生受入れ・奨学金支給、県内大学生派遣	3,880	吉林省青少年交流事業	相互に派遣・受入れ。令和4年度は県内高校生を派遣	1,500	河北省青少年交流事業	相互に派遣・受入れ。令和4年度は河北省高校生を受入れ	標準事務費	上海市青少年・民間交流事業	高校間及び民間団体間で交流を実施	標準事務費	香港青少年交流事業	香港の高校生を受け入れ、県内高校生との交流を実施	標準事務費	青少年オンライン交流事業	県内学校と交流地域間でオンライン意見交換等を実施	標準事務費	合計		5,380
事業名	内容	予算額																														
吉林省県費留学生受入事業	県内大学へ留学生受入れ・奨学金支給、県内大学生派遣	3,880																														
吉林省青少年交流事業	相互に派遣・受入れ。令和4年度は県内高校生を派遣	1,500																														
河北省青少年交流事業	相互に派遣・受入れ。令和4年度は河北省高校生を受入れ	標準事務費																														
上海市青少年・民間交流事業	高校間及び民間団体間で交流を実施	標準事務費																														
香港青少年交流事業	香港の高校生を受け入れ、県内高校生との交流を実施	標準事務費																														
青少年オンライン交流事業	県内学校と交流地域間でオンライン意見交換等を実施	標準事務費																														
合計		5,380																														
<p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <p>令和3年度、新型コロナウイルス感染拡大により相互往来はできなかったが、オンラインを活用し、河北省友好交流35周年事業のほか上海市内の高校との交流を初めて実施した。令和4年度も引き続き友好交流地域との交流の継続・拡大を図っていく。なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、可能な限りリモート交流などの代替事業を実施する。</p>																																
モンゴル中央県交流推進事業	2,649	2,684	△35				2,649																									
トータルコスト	8,958千円(前年度 9,021千円)[正職員:0.8人]																															
主な業務内容	関係機関との連絡調整、情報集収及び資料作成、派遣・受入期間中の対応																															
工程表の政策内容	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進																															
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要</p> <p>モンゴル中央県との交流を推進するため、医療分野、農業分野等での交流事業及び中央県出身者に対し県内大学への留学支援を行う。</p>																																
<p>2 主な事業内容 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>留学生受入れ</td> <td>中央県出身の若者を留学生として受け入れ、奨学金を支給</td> <td>2,425</td> </tr> <tr> <td>医療研修生受入れ</td> <td>医療研修生の受入れ・研修を実施</td> <td>標準事務費</td> </tr> <tr> <td>農業研修生受入れ</td> <td>農業従事職員の受入れ・研修を実施</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>農業専門家派遣</td> <td>農業専門家を中央県に派遣し、農業関係者に研修を実施</td> <td>標準事務費</td> </tr> <tr> <td>行政研修生受入れ</td> <td>行政職員の受入れ・研修を実施</td> <td>標準事務費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>2,649</td> </tr> </tbody> </table>									区分	内容	予算額	留学生受入れ	中央県出身の若者を留学生として受け入れ、奨学金を支給	2,425	医療研修生受入れ	医療研修生の受入れ・研修を実施	標準事務費	農業研修生受入れ	農業従事職員の受入れ・研修を実施	224	農業専門家派遣	農業専門家を中央県に派遣し、農業関係者に研修を実施	標準事務費	行政研修生受入れ	行政職員の受入れ・研修を実施	標準事務費	合計		2,649			
区分	内容	予算額																														
留学生受入れ	中央県出身の若者を留学生として受け入れ、奨学金を支給	2,425																														
医療研修生受入れ	医療研修生の受入れ・研修を実施	標準事務費																														
農業研修生受入れ	農業従事職員の受入れ・研修を実施	224																														
農業専門家派遣	農業専門家を中央県に派遣し、農業関係者に研修を実施	標準事務費																														
行政研修生受入れ	行政職員の受入れ・研修を実施	標準事務費																														
合計		2,649																														
<p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <p>モンゴル中央県とは平成9年に友好交流の覚書に調印し、青少年、農業、医療分野などにおいて交流を深めてきた。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大により相互往来は中止となったが、両県高校生によるオンライン意見交換会などリモート形式で代替の取組を実施した。令和4年度も民間団体や医療機関と連携し、引き続き交流を推進する。なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、可能な限りリモート交流などの代替事業を実施する。</p>																																

令和4年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課(内線:7122)

1目 企画総務費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考	
				国庫支出金	起債	その他	一般財源		
台湾交流推進事業	4,977	3,371	1,606				4,977		
トータルコスト	12,863千円(前年度 11,292千円)[正職員:1.0人]								
主な業務内容	連絡調整、事業の企画・立案、随行、関係部署との連絡調整、民間団体支援等								
工程表の政策内容	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進								
事業内容の説明									
1 事業の目的・概要									
台湾台中市との交流を推進するため、大学生を対象とした職場体験(インターンシップ)や鳥取県中学生サマースクール団派遣等を実施するとともに、交流を台中市以外の地域(台南市、台北市)にも拡大し、青少年分野での交流の取組を行う。									
2 主な事業内容 (単位:千円)									
	事業名	内容					予算額		
1	海外大学生インターンシップ(職場体験)受入れ	台湾等大学生による県内宿泊施設等での職場体験 [時期]7~8月 [人数]45名程度					134		
2	鳥取県中学生サマースクール団派遣	台中市に県内中学生を派遣し、学生間交流等を実施 [時期]8月 [人数]10名程度					1,650		
3	(新)台北市とのまんがによる青少年交流	オンラインによる青少年交流及びまんが教室の実施 [人数]30名程度(日台半数ずつ)					104		
4	台中市サイクリング交流団受入れ	台中市サイクリング交流団の県内イベントへの参加 [時期]秋頃 [人数]20名程度					1,089		
5	(新)台南市・台中市青少年向け文化交流推進事業	伝統工芸関係者による体験授業と作品展示会の開催 [参加者]台中市と台南市の生徒					800		
6	県内芸能団派遣	台中市主催イベント等への県内伝統芸能団の派遣 [人数]10名程度					900		
7	(新)台湾セミナー	台湾の現状等について学ぶセミナーを開催 [場所・回数]鳥取市内で2回程度					300		
	合計					4,977			
3 事業目標・取組状況・改善点									
平成30年11月に台中市と友好交流協定を締結し、農業、青少年に加えスポーツ、物産等の交流も推進している。令和3年度、新型コロナウイルスの影響により相互往来は中止となったが、代替として台中市と県内中学生によるオンライン交流会等のリモート交流の取組を行った。令和4年度は更なる交流推進のため、新たに台北市及び台南市との交流拡大に取り組む。なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、可能な限りリモート交流などの代替事業を実施する。									
米国バーモント州交流推進事業	315	315	0				315		
トータルコスト	1,104千円(前年度 1,107千円)[正職員:0.1人]								
主な業務内容	関係機関との連絡調整、情報収集及び資料作成、受入期間中の対応								
工程表の政策内容	国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進								
事業内容の説明									
1 事業の目的・概要									
米国バーモント州との交流を推進するため、同州大学生を対象にした県内企業等でのインターンシップ、同州民間青少年文化公演団体の受入れ等を行う。									
2 主な事業内容									
	事業名	内容					人数		
1	バーモント州インターンシップ事業	バーモント州内で日本語を学ぶ大学生を対象に、県内企業等でインターンシップを実施する。					1名		
2	バーモント州青少年文化公演団体受入事業	民間青少年文化公演団体を受け入れ、音楽公演や青少年との交流等を行う。					30名程度		
3	バーモント州とのオンライン交流	県内とバーモントの学生間でオンライン交流を行う。					未定		
3 事業目標・取組状況・改善点									
平成20年にバーモント州と友好交流の覚書を締結し、平成30年7月には姉妹提携を行った。令和3年度は新型コロナウイルスの影響により相互往来は出来なかったが、オンラインを活用したバーモント州青少年公演団と県内高校の音楽をテーマにした交流などを行った。令和4年度もこれまで実施してきた青少年交流を中心に幅広い交流が進むよう取り組んでいく。なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、可能な限りリモート交流などの代替事業を実施する。									

令和4年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

交流推進課(内線:7030)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ジャマイカ交流推進事業	11,051	10,451	600				11,051	
トータルコスト	18,937千円(前年度 18,372千円)[正職員:1.0人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、情報収集及び資料作成、派遣・受入期間中の対応							
工程表の政策内容	国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 ジャマイカ・ウェストモアランド県を中心としたジャマイカとの交流を推進するため、各種交流事業を実施する。								
2 主な事業内容 (単位:千円)								
事業名	内容			人数	予算額			
1 青少年交流事業	両県高校生を相互派遣し、学校訪問やホームステイ等を行う。また、両県高校生によるオンライン交流も行う。			10名程度	7,670			
2 マラソン交流事業	ジャマイカ・ウェストモアランド県で開催される世界的に有名なレゲエマラソン(12月)と鳥取マラソン(3月)に選手を相互派遣し、スポーツ交流を行う。			派遣・受入れともに各2名程度	2,188			
3 職員派遣事業	県職員をJICAの青年海外協力隊としてジャマイカに派遣する。[期間:6か月間]			1名	593			
4 (新)ジャマイカ独立60周年記念事業	ジャマイカ大使館と連携してジャマイカ独立60周年を記念した事業を実施する。			未定	600			
合計					11,051			
3 事業目標・取組状況・改善点 ジャマイカ・ウェストモアランド県とは平成28年3月に姉妹提携を締結し、様々な分野で交流し相互理解を進めている。令和3年度は新型コロナウイルスの影響で相互往来ができなかったが、レゲエマラソンへのリモート参加やオンラインを活用した青少年交流などを実施した。令和4年度も青少年交流やマラソン交流を中心に取り組み、ジャマイカとの友好関係を発展させる。なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、可能な限りリモート交流などの代替事業を実施する。								
ブラジル交流推進事業	8,400	8,400	0				8,400	
トータルコスト	20,229千円(前年度 20,282千円)[正職員:1.5人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、契約事務、派遣・受入期間中の対応、日本語指導及び指導員派遣業務							
工程表の政策内容	国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 ブラジル鳥取県人会等との交流を推進するため、各種交流事業を実施する。								
2 主な事業内容 (単位:千円)								
事業名	内容			人数	予算額			
1 技術研修員・留学生受入事業	ブラジルに在住する本県出身者の子弟に対し、本県における技術研修、修学の場を設ける。			研修員1名 留学生1名	7,448			
2 中堅リーダー交流(派遣)	ブラジルに中堅リーダーを派遣し、ブラジル鳥取県人会との交流等を実施する。			2名程度	952			
3 日本語指導員派遣事業・教員派遣研修事業	第二アリアンサ鳥取村へ教員を派遣・駐在させ、日本語指導等を行うほか、教員の短期研修派遣を行う。			派遣(長期)1名 派遣(短期)1名	標準事務費			
計					8,400			
3 事業目標・取組状況・改善点 ブラジル鳥取県人会等との交流推進は、留学生・研修生にとっては専門的な知識・技術だけでなく、日本語・日本文化を学ぶ機会にもなっており、ブラジルにおける日本文化継承の一助になるとともに、同会活動の活性化にも寄与している。令和3年度は第二アリアンサ鳥取村入植95周年を記念した祝賀メッセージ動画や記念品を贈呈するとともに、令和2年度に引き続きオンラインを活用したリモート日本語授業を実施した。令和4年度も交流の継続発展及び更なる民間交流の促進につなげる。なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、可能な限りリモート交流などの代替事業を実施する。								

令和4年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7123）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
新しい生活様式における国際交流推進事業	4,264	4,264	0				4,264	
トータルコスト	5,841千円（前年度 5,848千円）[正職員:0.2人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、現場対応							
工程表の政策内容	国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

新型コロナウイルス感染症の影響により、県民が異文化を体験する機会や在住外国人と交流する機会が大きく減少している。県内飲食店において各交流地域等の料理を提供するレストランフェアを開催するとともに、県内在住者同士によるホームステイ事業を実施することにより、異文化への理解を促進し、多文化共生社会の推進及び国際交流の機運醸成を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

事業名	内容	予算額
1 鳥取で世界一周！食で交流推進事業（レストランフェア）	[期間]2カ月間程度 [場所]県内飲食店 30店舗程度 [内容]・交流地域等の料理提供 ・スタンプラリー ・SNS等を活用した交流地域等の情報発信	4,144
2 県内在住外国人がホストファミリー事業（ホームステイ）	[時 期]夏季休暇期間や冬季休暇期間を想定 [期 間]1泊2日 [ホスト]県内在住外国人（単身者を除く）：15家庭程度 [参加者]県内小・中・高校生：25名程度	60
3 県民がホストファミリー事業（ホームステイ）	[時 期]夏季休暇期間や冬季休暇期間を想定 [期 間]1泊2日 [ホスト]県民（単身者を除く）：15家庭程度 [参加者]県内在住外国人：25名程度	60
合計		4,264

3 事業目標・取組状況・改善点

鳥取県は、中国吉林省、韓国江原道、ロシア沿海地方、モンゴル中央県を中心として北東アジア地域を始め、台中市などの東アジア地域や欧米とも多岐に渡る分野で交流を行っている。新型コロナウイルス感染拡大のため往来による交流が制限される中、県民の異文化理解促進により多文化共生社会の推進及び国際交流の機運醸成を図り、コロナ収束後の交流人口拡大へつなげていく。

なお令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴いレストランフェア及びホームステイのいずれも中止し、代替として交流地域の料理を学校給食で提供する取組を行った。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

交流推進課(内線:7758)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																											
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																												
自治体職員協力交流事業	8,374	8,374	0				8,374																												
トータルコスト	9,951千円(前年度 9,958千円)[正職員:0.2人]																																		
主な業務内容	関係機関との協議・調整、専門研修の企画																																		
工程表の政策内容	国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進																																		
事業内容の説明																																			
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>本県の友好交流先との関係を強化するため、中国・吉林省、ジャマイカ・ウェストモアランド県の職員を研修員として受け入れる。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1)受入人数:2名(予定:中国・吉林省1名、ジャマイカ・ウェストモアランド県1名)</p> <p>(2)受入期間:10カ月程度</p> <p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <p>友好交流地域から自治体職員を受け入れ、両地域の交流発展に寄与する人材を育成する。</p> <p>平成8年から現在まで計36名を受け入れており、本県の文化や職務に精通した研修員は、友好交流地域との交流を促進する上で欠かせない人材となっている。なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大により実施できなかった。令和4年度は、感染状況を注視しながら実施について検討する。</p>																																			
交流ネットワーク活用事業	47,343	51,412	△4,069			(収益事業収入) 6,000	41,343																												
トータルコスト	64,692千円(前年度 68,838千円)[正職員:2.2人]																																		
主な業務内容	海外へ向けた情報提供業務の委託、海外県人会及び(一財)自治体国際化協会等関係団体との連絡調整等																																		
工程表の政策内容	国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進																																		
事業内容の説明																																			
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>本県とゆかりのある交流組織等を活用して本県の情報の発信を行い、交流の活発化を図る。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 世界とっとりファンクラブ 会員等への情報提供等委託</td> <td>会員(本県の元国際交流員等)へ本県の情報を提供し、PRを依頼する業務を委託</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>2 海外県人会助成事業</td> <td>海外の県人会の活動費を助成</td> <td>1,435</td> </tr> <tr> <td>3 青少年国際協力支援事業</td> <td>青年海外協力隊鳥取県OV会(※)が開催する帰国報告会の開催等への助成 ※OVはボランティア経験者(Old Volunteers)の略称</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>4 (一財)自治体国際化協会の 分担金</td> <td>海外共同事務所運営費用等に係る分担金を負担</td> <td>6,000</td> </tr> <tr> <td>5 自治体国際化協会JETプログラム会費・負担金等</td> <td>JETプログラムに係る所定の会費及び新規国際交流員来県に要する経費を負担</td> <td>2,396</td> </tr> <tr> <td>6 海外との各種訪問団派遣及び受入れ等に対応するための経費</td> <td></td> <td>12,460</td> </tr> <tr> <td>7 交流推進課の標準事務費</td> <td></td> <td>23,852</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>47,343</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <p>世界とっとりファンクラブや海外県人会等の活動を支援することにより海外での本県のPR等を進めている。引き続き各団体・会員の活動を支援するとともに、突発的な交流事業にも機動的に対応して交流を促進し、本県の交流の活性化を図る。</p>									事業名	内容	予算額	1 世界とっとりファンクラブ 会員等への情報提供等委託	会員(本県の元国際交流員等)へ本県の情報を提供し、PRを依頼する業務を委託	800	2 海外県人会助成事業	海外の県人会の活動費を助成	1,435	3 青少年国際協力支援事業	青年海外協力隊鳥取県OV会(※)が開催する帰国報告会の開催等への助成 ※OVはボランティア経験者(Old Volunteers)の略称	400	4 (一財)自治体国際化協会の 分担金	海外共同事務所運営費用等に係る分担金を負担	6,000	5 自治体国際化協会JETプログラム会費・負担金等	JETプログラムに係る所定の会費及び新規国際交流員来県に要する経費を負担	2,396	6 海外との各種訪問団派遣及び受入れ等に対応するための経費		12,460	7 交流推進課の標準事務費		23,852	計		47,343
事業名	内容	予算額																																	
1 世界とっとりファンクラブ 会員等への情報提供等委託	会員(本県の元国際交流員等)へ本県の情報を提供し、PRを依頼する業務を委託	800																																	
2 海外県人会助成事業	海外の県人会の活動費を助成	1,435																																	
3 青少年国際協力支援事業	青年海外協力隊鳥取県OV会(※)が開催する帰国報告会の開催等への助成 ※OVはボランティア経験者(Old Volunteers)の略称	400																																	
4 (一財)自治体国際化協会の 分担金	海外共同事務所運営費用等に係る分担金を負担	6,000																																	
5 自治体国際化協会JETプログラム会費・負担金等	JETプログラムに係る所定の会費及び新規国際交流員来県に要する経費を負担	2,396																																	
6 海外との各種訪問団派遣及び受入れ等に対応するための経費		12,460																																	
7 交流推進課の標準事務費		23,852																																	
計		47,343																																	

令和4年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
1目 企画総務費

交流推進課（内線：7595）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県国際交流財団助成事業	61,993	57,835	4,158				61,993	
トータルコスト	66,725千円(前年度 62,588千円)[正職員:0.6人]							
主な業務内容	補助金の審査・交付・検査、各補助事業への助言等							
工程表の政策内容	多文化共生社会の構築							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 地域における国際交流や多文化共生社会を推進するため、(公財)鳥取県国際交流財団が実施する各種事業に対して助成を行う。								
2 主な事業内容 (単位:千円)								
	事業名	内容		補助率	予算額			
1	多言語情報発信事業	ホームページの運営、機関紙の発行、SNSによる情報発信		1/2	880			
2	コミュニケーション支援事業	(新)多文化共生コーディネーターの設置 日本語クラス運営、防災・災害時支援、医療・コミュニティ通訳ボランティア派遣、地域の多文化共生推進交流会の実施、相談会・各種セミナー開催等		3/4 (多文化共生コーディネーター人件費は10/10)	6,541			
3	人材の育成事業	医療・コミュニティ通訳ボランティア確保・育成、地域における日本語教育支援者養成		3/4	1,794			
4	県民の国際理解推進事業	米国バーモント州との青少年交流(派遣・受入れ)		10/10	7,529			
5	私費留学生奨学金の支給	県内大学在籍の私費留学生への奨学金支給		10/10	3,632			
6	事業所費、運営費	事務所費、人件費(9名分)		10/10	41,617			
	計				61,993			
3 事業目標・取組状況・改善点 令和3年度はコロナ禍のため、一部事業についてはオンラインを活用して実施した。今後も財団への助成等を通じて、関係機関と連携しながら、本県における国際交流活動並びに多文化共生社会の推進を図る。								
多文化共生推進事業	24,994	20,650	4,344	10,000			14,994	
トータルコスト	26,571千円(前年度 22,234千円)[正職員:0.2人]							
主な業務内容	相談窓口運営に係る連絡調整、委託契約事務、文例集の作成、研修会の開催							
工程表の政策内容	多文化共生社会の構築							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 外国人が安心して訪問、生活できる多文化共生社会を推進していくため、外国人総合相談窓口や多文化共生サポーターの設置・運営、やさしい日本語の活用推進、災害時外国人支援の取組を行う。								
2 主な事業内容 (単位:千円)								
	事業名	内容		予算額				
1	外国人総合相談窓口運営事業	県内3箇所(東・中・西部)に設置している多言語(英語、中国語、ベトナム語)対応の「外国人総合相談窓口」を運営する。外国人の視点から多文化共生の取組を進めるため、外国人の多文化共生コーディネーターを新たに配置する。(委託先:(公財)鳥取県国際交流財団)(国1/2)		20,000				
2	鳥取県多文化共生サポーター運営事業	外国人住民と行政等との橋渡し役を務める鳥取県多文化共生サポーター制度を運営する。(委託先:(公財)鳥取県国際交流財団)		650				
3	(新)やさしい日本語活用推進事業	行政窓口等で使用するやさしい日本語(難しい言葉を言い換えた分かりやすい日本語)の文例集を作成し、研修会を開催する。		3,318				
4	(新)災害時外国人支援事業	災害時に使用するやさしい日本語文例集の作成及び外国人支援のための防災研修会を開催する。		1,026				
	計			24,994				
3 事業目標・取組状況・改善点 令和3年度は、県内在住外国人に対する生活全般の情報発信・相談対応及びやさしい日本語を周知するための研修会を実施した。令和4年度も引き続き、県内の実情に応じた多言語相談等への対応を行う。また、平時、災害時におけるやさしい日本語による情報提供の促進等により、外国人が安心して生活できる環境を整備していく。 【相談実績】令和元年度:181件、令和2年度:332件、令和3年度:309件(12月末時点)								

令和4年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

1 目 企画総務費

交流推進課(内線:7842)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考										
				国庫支出金	起債	その他	一般財源											
国内交流推進事業	1,241	1,241	0				1,241											
トータルコスト	4,395千円(前年度 4,409千円)[正職員:0.4人]																	
主な業務内容	市町村等が実施する国内交流事業等への助言、補助金業務、県外の鳥取県人会等との協働による情報発信等																	
工程表の政策目標(指標)	国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進																	
事業内容の説明																		
<p>1 事業の目的・概要 国内交流を推進するため、全国各地の地域等と県内の市町村や民間団体との交流を支援する。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 国内交流補助金 (1,000千円)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象事業</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに行う国内交流事業(既存の交流分野の拡大を含む) ・本県発祥の伝統芸能等を継承している地域との国内交流事業 ・新たな国内交流先を模索するための初期活動事業 ※コロナ禍に限り遠隔交流も対象とする。 ※3カ年の間に実施する相互交流を対象とする。 ※複数団体が合同で実施する国内交流事業を新たに対象とする。 </td> </tr> <tr> <td>事業実施主体</td> <td>県内市町村、民間団体</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>1/2(上限額500千円)</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>事業を実施するために必要な経費(旅費、謝金、委託料、使用料等)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 市町村、県外県人会等との協働による情報発信(241千円) 県外で開催される催事等において情報発信を行う。</p> <p>3 事業目標・取組状況・改善点 国内交流及び県外で継承されている本県発祥の伝統芸能等の継続発展を支援するとともに、県外県人会等との協働による効率的な情報発信等を実施している。市町村や民間団体の交流事業を支援し、交流人口の増加や様々な分野での交流を促進するため、市町村と連携して、交流の掘り起こしや民間団体への制度周知等を行い、補助制度の活用を図っていく。</p>									区分	内容	対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに行う国内交流事業(既存の交流分野の拡大を含む) ・本県発祥の伝統芸能等を継承している地域との国内交流事業 ・新たな国内交流先を模索するための初期活動事業 ※コロナ禍に限り遠隔交流も対象とする。 ※3カ年の間に実施する相互交流を対象とする。 ※複数団体が合同で実施する国内交流事業を新たに対象とする。 	事業実施主体	県内市町村、民間団体	補助率	1/2(上限額500千円)	補助対象経費	事業を実施するために必要な経費(旅費、謝金、委託料、使用料等)
区分	内容																	
対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに行う国内交流事業(既存の交流分野の拡大を含む) ・本県発祥の伝統芸能等を継承している地域との国内交流事業 ・新たな国内交流先を模索するための初期活動事業 ※コロナ禍に限り遠隔交流も対象とする。 ※3カ年の間に実施する相互交流を対象とする。 ※複数団体が合同で実施する国内交流事業を新たに対象とする。 																	
事業実施主体	県内市町村、民間団体																	
補助率	1/2(上限額500千円)																	
補助対象経費	事業を実施するために必要な経費(旅費、謝金、委託料、使用料等)																	
パスポート発給事務費	33,491	33,491	0			(手数料) 20,000	13,491											
トータルコスト	47,686千円(前年度 47,749千円)[正職員:1.8人]																	
主な業務内容	旅券に係る申請受付・審査・作成及び交付等																	
工程表の政策目標(指標)	円滑な旅券発給業務の推進																	
事業内容の説明																		
<p>1 事業の目的・概要 旅券法に基づく法定受託事務である旅券の申請受理、作成及び交付に関する事務を、一部民間に委託して実施する。</p> <p>2 主な事業内容 県庁・中部総合事務所・西部総合事務所及び権限移譲をしている倉吉市役所・境港市役所・日南町役場・日野町役場・江府町役場に窓口を設け、県民からの一般旅券申請の受理、審査、作成及び交付を行う。 <委託業務の概要> (1) 委託対象業務 <ul style="list-style-type: none"> ・電話案内、申請・交付窓口業務(県庁・中部総合事務所・西部総合事務所) ・旅券作成業務(全窓口分を県庁窓口で作成) (2) 委託期間:平成30年4月1日から令和5年3月31日まで(5年間)(債務負担行為設定済み) ※参考:委託対象外業務 旅券作成の最終審査、緊急発給など慎重、迅速かつ適正な対応が特に必要とされる高度な業務等</p> <p>3 事業目標・取組状況・改善点 旅券発給事務を一部民間に委託し、権限移譲した市町と連携して円滑に旅券事務を遂行している。引き続き窓口従事者の研修等を行い、住民利便の向上を図る。</p>																		

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

まんが王国官房(内線: 7800)

1 目 観光費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
水木しげる生誕100年 記念事業	15,000	17,000	△2,000				15,000	
トータルコスト	16,577千円 (前年度 18,584千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施							
工程表の政策内容	誘客につながるまんが王国とつとりの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

故水木しげる氏の偉業をたたえ、妖怪パワーにより、本県の魅力発信と観光誘客を推進する。
令和4年3月に水木しげる氏が生誕100年を迎えるにあたり、氏のふるさとへの功績に感謝し生誕100年をお祝いするとともに、誘客促進につながる催しを開催する。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

項目	予算額	内容
1 水木しげる生誕祭の開催	6,000	水木しげる先生のふるさとへの功績の顕彰と観光誘客を促進する催事を境港市と共同で開催する。 ・期日 令和5年3月(水木先生生誕月) ・会場 境港市ほか ・内容 水木しげる先生にゆかりのある著名人等によるトークショー等
2 ゲゲゲ忌「鳥取コラボDAY」の開催	4,000	アニメーション会社の協力を得て、東京・調布で行われる「ゲゲゲ忌」に出展し、アニメをテーマにした催事を行うことにより、首都圏で「アニメ鬼太郎の聖地」としての鳥取県の認知度向上及び誘客促進を図る。 ・時期 令和4年11月 ・場所 調布市内劇場、駅前広場等
3 米子鬼太郎空港装飾の整備	5,000	米子鬼太郎空港の鬼太郎装飾の整備を行い、愛称にふさわしい空港を目指すとともに、国内外への情報発信及び誘客促進に繋げる。 ・時期 令和5年3月 ・内容 愛称にふさわしい鬼太郎装飾の整備
合計	15,000	

3 事業目標・取組状況・改善点

- ・ 水木しげる先生の作品は、幅広い年齢層の多くのファンに愛され、本県の情報発信と観光誘客における大切な財産である。
- ・ 水木しげるロード及び水木しげる記念館の入込客数は、アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」の放送や水木しげるロードリニューアルの効果で増加している。これも水木先生のふるさと愛の賜物であり、その功績をたたえ、引き続き生誕祭を開催する。
- ・ 令和3年度は水木先生ゆかりの東京・調布で、先生の命日を偲ぶ「ゲゲゲ忌」(調布市主催)と連携し、アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」の声優のトークショーを開催した。令和4年度も首都圏で、より効果的な情報発信を行い、本県への誘客促進を図る。
- ・ 令和4年3月には、水木しげる先生の「生誕100年」を迎える。この節目にソフト・ハード両面で記念事業を行う。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費

まんが王国官房(内線:7801)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考									
				国庫支出金	起債	その他	一般財源										
世界が認めた漫画家・谷口ジロー顕彰事業	4,000	3,000	1,000				4,000										
トータルコスト	4,789千円 (前年度 3,792千円) [正職員:0.1人]																
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施																
工程表の政策内容	誘客につながるまんが王国とっとりの推進																
事業内容の説明																	
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>世界的な漫画家である谷口ジロー氏の出身地である本県が、世界各地のファンにとって聖地となることを目指し、谷口作品の魅力やゆかりの地について情報発信する。</p>																	
<p>2 主な事業内容</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">予算額</th> <th style="text-align: center;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>谷口ジロー原画展の開催</td> <td style="text-align: center;">3,000</td> <td>谷口ジロー氏の偉大な業績を広く周知し、国内外からの観光誘客につなげるため、鳥取市内の会場において『テーマ性のある原画展示』を行う。</td> </tr> <tr> <td>(新)全国巡回展との連携</td> <td style="text-align: center;">1,000</td> <td>全国巡回する原画展「描くひと 谷口ジローの世界」と連携し、開催地で本県の情報発信を行う。</td> </tr> </tbody> </table>									項目	予算額	内 容	谷口ジロー原画展の開催	3,000	谷口ジロー氏の偉大な業績を広く周知し、国内外からの観光誘客につなげるため、鳥取市内の会場において『テーマ性のある原画展示』を行う。	(新)全国巡回展との連携	1,000	全国巡回する原画展「描くひと 谷口ジローの世界」と連携し、開催地で本県の情報発信を行う。
項目	予算額	内 容															
谷口ジロー原画展の開催	3,000	谷口ジロー氏の偉大な業績を広く周知し、国内外からの観光誘客につなげるため、鳥取市内の会場において『テーマ性のある原画展示』を行う。															
(新)全国巡回展との連携	1,000	全国巡回する原画展「描くひと 谷口ジローの世界」と連携し、開催地で本県の情報発信を行う。															
<p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 谷口ジロー先生は、水木しげる先生、青山剛昌先生とともに「まんが王国とっとり」の巨匠である。谷口先生は繊細で精緻な画風が高く評価されており、事業実施に当たっては「画の美しさ」で誘客促進を図るといふねらいで原画展を開催するとともに、展覧会を通じて谷口先生への理解を深めその業績を顕彰することを目的としている。 ・ 谷口作品は、フランスをはじめヨーロッパで極めて高い人気を誇る。本県へのフランス人旅行者はまだ多くないが、鳥根県や岡山県など隣県には一定数の入り込みがあり、将来的にこうしたヨーロッパからの旅行者を取り込む流れをつくる必要がある。 ・ ご逝去翌年の平成30年以降毎年開催してきた原画展を継続的に実施することで、郷土の誇りとしてその偉大さを共有していくとともに、谷口作品の魅力を通じた情報発信につなげる。 ・ 鳥取市及び地元団体とも連携し、谷口ジロー先生を顕彰する機運醸成に努める。 																	

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

まんが王国官房(内線:7800)

1目 観光費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが・アニメツーリズム推進事業	27,169	24,131	3,038				27,169	
トータルコスト	33,478千円 (前年度 30,468千円) [正職員:0.8人]							
主な業務内容	企画、連絡調整、展示会出展・運営、補助金審査・交付、委託契約事務							
工程表の政策内容	誘客につながるまんが王国とっりの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

まんが・アニメを活かした本県の情報発信や国内外からの誘客を促進するため、本県ゆかりのまんが・アニメとタイアップしたプロモーションや県内周遊の仕組みづくりなどを行う。

2 主な事業内容

(単位:千円)

項目	予算額	内容
1 国内観光客の周遊・滞在促進企画	2,000	国内観光客の県内周遊を促進し地域への経済効果を図るため、県内全域のまんが関連施設・スポットを周遊するデジタルスタンプラリーを実施する。
2 (新)水木しげるの展覧会連携	3,000	“妖怪”をメインテーマとした水木しげるの展覧会と連携し、まんがをテーマにした本県の情報発信を行う。
3 漫画「四十七大戦」との連携	3,500	都道府県擬人化バトル漫画「四十七大戦」と連携し、本県の情報発信と観光誘客の促進を図る。
4 (新)鳥取県ゆかりの漫画作品との連携	1,000	鳥取県ゆかりの漫画作品と連携し、聖地巡礼マップを作成する等により本県への誘客促進を図る。
5 妖怪文化をテーマにした自治体との情報発信、アニメツーリズム協会等との連携	2,150	他自治体と共同で妖怪文化をテーマにした情報発信を行う。 アニメツーリズム協会等と連携を図り、国内外へ「まんが王国とっり」を広く情報発信する。
6 まんが王国とっり満喫周遊パスの発行	2,500	訪日外国人観光客の県内周遊を促進するため、まんが王国とっりの主要観光施設をお得に巡る施設入場パスを発行する。 ・対象施設:水木しげる記念館、とっり花回廊、青山剛昌ふるさと館、鳥取砂丘砂の美術館、鳥取二十世紀記念館なしっこ館、円形劇場くらしフィギュアミュージアム ・パス価格:1,000円(大人小人共通、5歳以下無料)
7 まんがアニメに特化した海外プロモーション	4,019	まんがやアニメをテーマとする海外催事へ出展し、まんが王国とっりの魅力を発信する。
8 まんがアニメ資源活用誘客促進補助金	9,000	まんがアニメの地域資源を活かして観光誘客等の取組を行う市町村等を支援する。 ・補助率:1/2 ・上限額:2,000千円
合計	27,169	

3 事業目標・取組状況・改善点

- ・人気まんがやアニメとのタイアップを積極的に進め、情報発信と誘客促進を図る。
- ・オンラインや非接触といった手法での企画を積極的に実施する。プロモーションと受け地整備(割引パス)を維持し、国際線の再開が見込まれた場合に迅速に対応できるようにする。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

まんが王国官房(内線:7801)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
まんが王国コナンで誘客促進事業	13,205	28,966	△15,761				13,205																
トータルコスト	19,514千円 (前年度 35,303千円) [正職員:0.8人]																						
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施																						
工程表の政策内容	誘客につながるまんが王国とっりの推進																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の目的・概要 名探偵コナンの国内外での高い知名度を活かし、「鳥取＝コナン」を発信することで本県への誘客を促進する。</p>																							
<p>2 主な事業内容</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>予算額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 名探偵コナンまつりの開催</td> <td style="text-align: center;">8,705</td> <td>まんが王国とっりの夏の恒例イベントとして定着したコナンまつりを開催し、県外からの集客を図る。 ・時期 令和4年9月頃</td> </tr> <tr> <td>2 鳥取砂丘コナン空港の装飾拡充</td> <td style="text-align: center;">3,500</td> <td>鳥取砂丘コナン空港のコナン装飾の拡充整備を行い、愛称にふさわしい空港を目指すとともに、国内外への情報発信及び誘客促進に繋げる。 ・時期 令和4年9月頃</td> </tr> <tr> <td>3 名探偵コナン列車の運行</td> <td style="text-align: center;">1,000</td> <td>現在2編成運行中の名探偵コナン列車の保守管理経費。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">13,205</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									項目	予算額	内容	1 名探偵コナンまつりの開催	8,705	まんが王国とっりの夏の恒例イベントとして定着したコナンまつりを開催し、県外からの集客を図る。 ・時期 令和4年9月頃	2 鳥取砂丘コナン空港の装飾拡充	3,500	鳥取砂丘コナン空港のコナン装飾の拡充整備を行い、愛称にふさわしい空港を目指すとともに、国内外への情報発信及び誘客促進に繋げる。 ・時期 令和4年9月頃	3 名探偵コナン列車の運行	1,000	現在2編成運行中の名探偵コナン列車の保守管理経費。	合計	13,205	
項目	予算額	内容																					
1 名探偵コナンまつりの開催	8,705	まんが王国とっりの夏の恒例イベントとして定着したコナンまつりを開催し、県外からの集客を図る。 ・時期 令和4年9月頃																					
2 鳥取砂丘コナン空港の装飾拡充	3,500	鳥取砂丘コナン空港のコナン装飾の拡充整備を行い、愛称にふさわしい空港を目指すとともに、国内外への情報発信及び誘客促進に繋げる。 ・時期 令和4年9月頃																					
3 名探偵コナン列車の運行	1,000	現在2編成運行中の名探偵コナン列車の保守管理経費。																					
合計	13,205																						
<p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連載27周年を迎える名探偵コナンを中心に青山先生の描くキャラクターを活用して本県の認知度向上及び誘客促進を図る。 ・ 青山剛昌氏の代表作「名探偵コナン」はコミックス世界累計発行部数が2億5千万冊を突破、世界25の国と地域で翻訳されるなど、極めて高い人気を誇る作品である。 ・ 「名探偵コナンまつり」は、毎年全国から多くのコナンファンが来場している。令和3年度は、コロナ感染拡大の影響によりホールイベント開催は行わず、代替としてコミックス100巻発売をお祝いするタペストリーのお披露目を行い、まんが王国とっりの取組を広く情報発信することで、県の魅力を発信することができた。 ・ 鳥取砂丘コナン空港とあわせ「鳥取＝コナン」の認知度は高まっており、コロナの影響を受けつつもSNS投稿の装飾画像などによる、本県への観光機運醸成につながっている。 ・ 平成24年度から運行されている名探偵コナンイラスト列車は、令和元年度新色車両へリニューアルされた。国内外問わず多くの観光客にとって「一度は見たい特別な列車」として広く認知されている。 ・ こうした流れを維持し、取組を継続・強化することで一層の観光誘客を図る。 																							

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

まんが王国官房(内線: 7801)

1 目 観光費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが王国発ソフトパワー事業	64,702	63,702	1,000				64,702	
トータルコスト	109,820千円(前年度108,971千円) [正職員: 5.0人、会計年度任用職員2.0人]							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施、市町村・民間との連絡調整							
工程表の政策内容	誘客につながるまんが王国とっりの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県の強みのひとつであるまんがを活用した「まんが王国とっり」の取組を推進し、国内外に情報発信することで観光誘客につなげるとともに、取組を支える地域文化を醸成する。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

項目	予算額	内容															
1 国際マンガコンテストの開催	11,926	本県発の国際マンガコンテストを継続開催し、新たな人材の発掘・育成とともに、海外ネットワーク拡大を図る。 ○部門 1コマ漫画、4コマ漫画、ストーリー漫画 ○賞 最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞、U-15賞 ○スケジュール ・作品募集(令和4年4月～8月) ・入賞者発表(令和4年12月) ・表彰式、作品集発行(令和5年2月)															
2 国際声優コンテスト「声優魂」鳥取大会の開催	3,600	声優をめざす中高生が夢を実現する機会として、全国規模のコンテストの地方大会を実施する。(予選: 7月、本選: 8月)															
3 まんが王国活動支援補助金	15,000	市町村・民間団体が取り組むまんがを活用した事業を支援する。 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>補助率</th> <th>上限額</th> <th>件数</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域拠点形成事業</td> <td style="text-align: center;">1/2</td> <td style="text-align: center;">5,000</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">10,000</td> </tr> <tr> <td>地域活性化事業</td> <td style="text-align: center;">1/2</td> <td style="text-align: center;">5,000</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">5,000</td> </tr> </tbody> </table>	区分	補助率	上限額	件数	予算額	地域拠点形成事業	1/2	5,000	2	10,000	地域活性化事業	1/2	5,000	1	5,000
区分	補助率	上限額	件数	予算額													
地域拠点形成事業	1/2	5,000	2	10,000													
地域活性化事業	1/2	5,000	1	5,000													
4 情報発信	25,500	・著作物使用料 ・着ぐるみPR活動 ・情報発信 ・国際マンガサミット事務局との連携 ・日本マンガ学会との連携															
5 事務費	8,676	事務用品購入、通信運搬等に要する経費															
合計	64,702																

3 事業目標・取組状況・改善点

- ・平成24年度に始めた国際マンガコンテストの継続開催を通じて、まんが王国とっりの認知度向上を図るとともに、新たな人材の発掘を目指す。これまでに世界52か国・地域から応募があるなど、世界にコンテストが周知されることでまんが王国とっりの認知度が高まっている。
- ・平成24年度に始めた国際声優コンテスト「声優魂」鳥取大会の継続開催を通じて、まんが王国とっりの認知度向上を図るとともに、新たな人材の発掘を目指す。鳥取大会の優勝者が全国大会も制覇するなど、全国からの鳥取への注目度が高まっている。
- ・まんが王国活動支援補助金により県内の取組を支援している。補助率や上限額を見直し活動の自立化を促していく。
- ・さまざまな主体のマンガを活かした取組と、今後も連携・支援し、まんが王国とっりの認知度向上及び誘客促進につなげる。

令和4年度当初予算歳入歳出事項別明細書(交流人口拡大本部)

(単位:千円)

節	款 項 目	2款 総務費								
		うち交流人口拡大本部								
		1項 総務管理費					2項 企画費			
			1目 一般管理費	2目 県外 事務所費			1目 企画総務費	2目 計画調査費	3目 交通対策費	
1	報酬	635,679	96,845	31,269	31,260	9	65,538	65,497	41	
2	給料	3,078,577	201,294	83,556	83,556		117,738	117,738		
3	職員手当等	4,983,179	124,874	65,684	65,684		59,190	59,190		
4	共済費	1,135,591	84,438	34,093	34,093		50,345	50,345		
5	災害補償費	500								
6	恩給及び退職年金	5,424								
7	報償費	308,446	3,609	1,666		1,666	1,411	1,331		80
8	旅費	236,104	44,285	9,706	792	8,914	31,851	31,431		420
	費用弁償	39,084	7,550	2,482	792	1,690	4,968	4,968		
	普通旅費	148,299	20,915	5,227		5,227	13,238	13,238		
	特別旅費	48,721	15,820	1,997		1,997	13,645	13,225		420
9	交際費	2,900	1,000	900		900	100	100		
10	需用費	567,024	25,580	15,890		15,890	8,390	8,390		
	食糧費	21,445	5,762	1,722		1,722	3,940	3,940		
	その他の需用費	545,579	19,818	14,168		14,168	4,450	4,450		
11	役務費	634,942	23,397	10,674		10,674	10,136	10,136		
12	委託料	6,229,559	555,353	66,930		66,930	283,567	98,382	131,212	53,973
13	使用料及び賃借料	1,106,706	52,459	38,611		38,611	13,328	13,328		
14	工事請負費	2,758,663	5,661				5,661		5,661	
15	原材料費	565								
16	公有財産購入費									
17	備品購入費	82,569	45	45		45				
18	負担金、補助及び交付金	10,589,812	260,425	9,077		9,077	127,770	79,721	425	47,624
19	扶助費									
20	貸付金									
21	補償、補填及び賠償金	1,800								
22	償還金、利子及び割引料	170,200								
23	投資及び出資金									
24	積立金	826,681								
25	寄付金	30,800								
26	公課費	356								
27	繰出金	10,000								
	予備費									
	計	33,396,077	1,479,265	368,101	215,385	152,716	775,025	535,589	137,339	102,097
財源内訳	国庫支出金	4,992,820	138,001				10,000	10,000		
	地方債	2,159,000	10,000				10,000		10,000	
	その他	1,912,754	32,215	2,059	112	1,947	26,201	26,201		
	一般財源	24,331,503	1,299,049	366,042	215,273	150,769	728,824	499,388	127,339	102,097

令和4年度当初予算歳入歳出事項別明細書(交流人口拡大本部)

(単位:千円)

節	款 項 目		5款 労働費				7款 商工費			
			4項 市町村振興費	うち交流人口拡大本部			うち交流人口拡大本部	1項 商業費		
				1項 労政費				1項 商業費		
	1目 自治振興費				1目 労政総務費					
1	報 酬	38	38	263,514			53,548	15,878		
2	給 料			205,092			387,396	155,718		
3	職員手当等			141,266			199,187	79,241		
4	共 済 費			114,652			161,724	55,205		
5	災 害 補 償 費									
6	恩給及び退職年金									
7	報 償 費	532	532	131,640			595,182	4,570		
8	旅 費	2,728	2,728	25,779			49,377	21,251		
	費用弁償	100	100	12,685			8,133	3,490		
	普通旅費	2,450	2,450	4,768			31,216	14,971		
	特別旅費	178	178	8,326			10,028	2,790		
9	交 際 費			50			100			
10	需 用 費	1,300	1,300	34,320			44,203	22,400		
	食糧費	100	100	524			8,821	3,571		
	その他の需用費	1,200	1,200	33,796			35,382	18,829		
11	役 務 費	2,587	2,587	22,018			40,295	18,028		
12	委 託 料	204,856	204,856	675,199	1,682	1,682	1,167,846	596,913	4,251	
13	使用料及び賃借料	520	520	82,554			145,749	115,689	83,033	
14	工 事 請 負 費			171,884			112,635	112,635		
15	原 材 料 費			2,700						
16	公有財産購入費									
17	備 品 購 入 費			2,000			81,941			
18	負担金、補助及び交付金	123,578	123,578	197,190	59,712	59,712	14,694,288	2,797,865	22,297	
19	扶 助 費			359						
20	貸 付 金						335,191	5,713	5,713	
21	補償、補填及び賠償金									
22	償還金、利子及び割引料									
23	投資及び出資金									
24	積 立 金			186,990	186,990	186,990	205			
25	寄 付 金			5,648						
26	公 課 費			63						
27	繰 出 金						21,907			
	予 備 費									
	計	336,139	336,139	2,262,918	248,384	248,384	248,384	18,090,774	4,001,106	115,294
財源内訳	国庫支出金	128,001	128,001	915,699				3,342,685	2,394,365	
	地方債			105,000				85,000	36,000	
	その他	3,955	3,955	76,644	64,728	64,728	64,728	7,740,174	7,322	6,526
	一般財源	204,183	204,183	1,165,575	183,656	183,656	183,656	6,922,915	1,563,419	108,768

令和4年度当初予算歳入歳出事項別明細書(交流人口拡大本部)

(単位:千円)

款 項 目 節					交流人口 拡大本部 合 計	
			3項 観光費			
	2目	3目	1目			
	商業振興費	金融対策費	観光費			
1 報 酬			15,878	15,878	112,723	
2 給 料			155,718	155,718	357,012	
3 職員手当等			79,241	79,241	204,115	
4 共 済 費			55,205	55,205	139,643	
5 災 害 補 償 費						
6 恩給及び退職年金						
7 報 償 費			4,570	4,570	8,179	
8 旅 費			21,251	21,251	65,536	
費用弁償			3,490	3,490	11,040	
普通旅費			14,971	14,971	35,886	
特別旅費			2,790	2,790	18,610	
9 交 際 費					1,000	
10 需 用 費			22,400	22,400	47,980	
食糧費			3,571	3,571	9,333	
その他の需用費			18,829	18,829	38,647	
11 役 務 費			18,028	18,028	41,425	
12 委 託 料	4,251		592,662	592,662	1,153,948	
13 使用料及び賃借料	83,033		32,656	32,656	168,148	
14 工 事 請 負 費			112,635	112,635	118,296	
15 原 材 料 費						
16 公有財産購入費						
17 備 品 購 入 費					45	
18 負担金、補助及び交付金	22,297		2,775,568	2,775,568	3,118,002	
19 扶 助 費						
20 貸 付 金		5,713			5,713	
21 補償、補填及び賠償金						
22 償還金、利子及び割引料						
23 投資及び出資金						
24 積 立 金					186,990	
25 寄 付 金						
26 公 課 費						
27 繰 出 金						
予 備 費						
計	109,581	5,713	3,885,812	3,885,812	5,728,755	
財 源 内 訳	国庫支出金		2,394,365	2,394,365	2,532,366	
	地方債		36,000	36,000	46,000	
	その他	813	5,713	796	796	104,265
	一般財源	108,768		1,454,651	1,454,651	3,046,124

節 の 明 細

項 目		金額(千円)等
2款 総務費		
1項 総務管理費		
1目 一般管理費		
給料	一般職員	22人
報酬	会計年度任用職員	11人
9目 県外事務所費		
報酬	名古屋駅でのPR事業プロポーザル審査会審査委員	2人
負担金、補助及び交付金	全国東京事務所長会負担金	20
	近畿ブロック東京事務所長会負担金	15
	各省担当者協議会負担金	35
	鳥取県・明治大学連携講座負担金	440
	中国五県物産観光協議会負担金	56
	関西市場駐在協議会会費	15
	商工会議所(大阪、東大阪、京都、守口門真、姫路、神戸、尼崎)年会費	218
	各展示会への出展負担金	101
	包括協定大学への負担金	321
	就職協定大学への負担金	527
	大阪駅前第3ビル事務所管理負担金	2,712
	大阪駅前第3ビル修繕積立負担金	337
	関西本部多目的交流室管理負担金	3,285
	在阪府県協議会会費	100
	在阪中四国県事務所協議会負担金	30
	中四国観光展事業負担金	50
	在名道県連絡協議会負担金	50
	全国物産観光センター連絡協議会会費・負担金	148
	イベント出展負担金	452
	就職相談会出展負担金	105
	名古屋商工会議所、名古屋産業人クラブ負担金	60
2項 企画費		
1目 企画総務費		
給料	一般職員	31人
報酬	会計年度任用職員	19人
負担金、補助及び交付金	琴浦町日韓友好資料館企画運営委員会負担金	200
	中国吉林省からの留学生支援鳥取県奨学金	3,880
	モンゴル中央県からの留学生支援鳥取県奨学金	2,239
	モンゴル農業研修員生活支援負担金	223
	鳥取県国際交流財団事業費補助金	61,993
	国際交流拠点整備費負担金	6,000
	海外県人会活動支援補助金	1,400
	青年海外協力隊帰国報告会開催支援補助金	400
	JETプログラム各種負担金	2,386
	鳥取県国内交流補助金	1,000
2目 計画調査費		
報酬	鳥取県観光交流局指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会委員	4人
負担金、補助及び交付金	サイクリスト利便施設管理負担金	425
3目 交通対策費		
負担金、補助及び交付金	但馬版キッズエアサポート事業負担金	100
	空港利用促進懇話会負担金	29,095
	航空エアサポート支援負担金	12,000
	空港レンタカー助成事業負担金	6,000
	全国地域航空システム推進協議会負担金	129
	鳥取空港ならではの体験メニュー開発支援補助金	300

節 の 明 細

項 目		金額(千円)等	
2款 総務費			
4項 市町村振興費			
1目 自治振興費			
報酬	とっとり翔ける福業業務委託先選定プロポーザル審査会審査委員	2人	
	若者交流会業務委託先選定プロポーザル審査会審査委員	2人	
負担金、補助 及び交付金	ビジネス人材副業・兼業活用補助金	5,000	
	鳥取県ファミリーワーケーションプログラム造成事業費補助金	1,500	
	とっとりワーケーションネットワーク協議会運営補助金	1,000	
	ワーケーション実施企業支援事業費補助金	375	
	転職なき移住等支援事業補助金	4,500	
	ローカルインフルエンサーによるとっとり暮らし情報発信支援事業補助金	400	
	ふるさとでの新しいライフステージ支援補助金	5,000	
	とっとり暮らしワーキングホリデー支援補助金(県外版)	2,522	
	とっとり暮らしワーキングホリデー支援補助金(県内版)	330	
	地域活動応援事業費補助金	700	
	ワーケーション拠点整備事業費補助金	7,631	
	移住・交流推進機構年会費	300	
	民間活動推進事業費補助金	1,600	
	鳥取県移住定住推進交付金	50,000	
	新たな起業・創業者人材移住強化補助金	600	
	鳥取県若者地域定着促進事業費補助金	2,500	
	鳥取県本社機能移転による移住者支援事業補助金	5,000	
とっとりビジネス人材移住支援金	30,000		
多世代・全員活躍の「生涯活躍のまち」への移住推進事業費補助金	4,620		
5款 労働費			
1項 労政費			
1目 労政総務費			
負担金、補助 及び交付金	鳥取県未来人材奨学金支援助成金	59,712	
	積立金	鳥取県未来人材基金出捐金	186,990
7款 商工費			
1項 商業費			
2目 商業振興費			
負担金、補助 及び交付金	鳥取県・岡山県共同アンテナショップ運営協議会負担金	19,797	
	アンテナショップ催事出展支援金	2,500	
3目 金融対策費			
貸付金	観光開発促進資金貸付金	5,713	
3項 観光費			
1目 観光費			
給料	一般職員	41人	
	報酬	会計年度任用職員	8人
		蟹取県ウエルカニキャンペーン情報発信業務委託先選定プロポーザル審査会審査委員	1人
		パブリシティ業務委託先選定プロポーザル審査会審査委員	1人
		鳥取県観光振興指針検討委員会委員	5人
		海外プロモーションプロポーザル審査会審査委員	2人
		国際マンガコンテスト審査員	10人
負担金、補助 及び交付金	(公社)日本観光振興協会負担金	718	
	(公社)日本観光振興協会全国広域観光振興事業負担金	700	
	(公社)日本観光振興協会中国支部負担金	120	
	(公社)日本観光振興協会観光情報システム分担金	200	
	山陰観光連盟負担金	324	
	(一社)日本スポーツツーリズム推進機構負担金	50	

節 の 明 細

項 目		金額(千円)等
7款	商工費	
3項	観光費	
1目	観光費	
負担金、補助 及び交付金	フィルムコミッション業務補助	10,409
	新型コロナから立ち上がる観光支援事業	2,000,000
	とっとりコンベンションビューロー運営費交付金	24,103
	コンベンション開催助成費補助金	21,875
	(公社)鳥取県観光連盟運営費負担金	93,939
	ニューツーリズム普及促進支援補助金(星取県推進型)	3,600
	宙ツーリズム推進協議会負担金	50
	ニューツーリズム普及促進支援補助金	3,500
	温泉地魅力向上事業負担金(いなば温泉郷協議会)	1,310
	温泉地魅力向上事業負担金(皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会)	6,000
	イルミネーション支援補助金	0
	鳥取県着地型観光・体験情報発信事業補助金	3,132
	オールシーズンツーリズム普及促進支援補助金	3,500
	鳥取県キャンプ場利用環境改善支援事業補助金	15,000
	メンバーフレンドエリア登録料	1,848
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金(バス旅行商品支援及び旅行商品造成支援)	27,500
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金(観光パスポート作成支援)	3,875
	魅力ある滞在型観光エリアづくり推進事業交付金	4,000
	新たな地域貢献型観光素材の発掘、メニュー開発補助金	5,000
	XR活用により「新しい体験型観光コンテンツ」造成事業補助金	15,000
	新たな宿泊コンテンツ整備補助金	7,500
	観光コンテンツ造成支援推進交付金	15,000
	観光ガイドマップのデジタル化支援補助金	3,230
	鳥取・岡山広域観光協議会負担金	1,000
	「ディスカバーウェスト」連携協議会負担金	5,000
	鳥取自動車道活性化協議会負担金	900
	NEXCO西日本連携キャンペーン負担金	420
	JAFと連携した観光キャンペーン連携事業負担金	605
	鳥取県観光二次交通運行支援補助金	19,594
	鳥取県周遊バス運行支援補助金	1,735
	鳥取県外国人観光客増進促進補助金	12,000
	鳥取県宿泊施設魅力アップ事業補助金	8,000
	サイクルトレイン・サイクルバス普及推進事業補助金	500
	中国知事会サイクリング部会負担金	1,000
	レンタサイクル拠点整備補助金	2,000
	サイクリングイベント開催負担金	9,000
	ゲートウェイ整備支援補助金	2,000
	サイクリングイベント支援事業補助金	1,000
	山陰観光連盟山陰路部会負担金	2,000
	鳥鉄の旅魅力造成支援補助金	2,600
	東浜駅周辺整備負担金	1,267
	(一社)山陰インバウンド機構運営事業負担金	80,000
	おもてなしスキルアップ補助金	3,000
	民間事業者と連携したとっとりサウナツーリズムのPR補助金	2,000
	教育旅行誘致推進事業補助金	7,995
	体験型教育旅行誘致促進業務補助金	11,000
	イルミネーション支援補助金	7,500
	「日本一のすなば」魅力まるごと事業負担金	6,800
	インバウンド向けオンラインコンテンツ制作等支援事業補助金	1,000

節 の 明 細

項 目		金額(千円)等
7款	商工費	
3項	観光費	
1目	観光費	
負担金、補助 及び交付金	鳥取県外国人観光客誘致対策事業補助金	1,600
	鳥取県外国人観光客倍増促進補助金	8,300
	「ようこそ鳥取県」国際チャーター便促進支援補助金	12,875
	米子ー上海国際定期便に係る運航経費補助金	35,000
	米子ー香港国際定期便に係る運航経費補助金	70,000
	米子ーソウル国際定期便に係る運航経費補助金	70,000
	国際定期便利用促進協議会負担金	10,000
	国際定期便交流創出支援事業補助金	200
	国際定期便乗継利用促進事業補助金	180
	米子鬼太郎空港を発着する国際線の二次交通対策	3,848
	広域連携国際観光推進事業負担金	10,610
	JR西日本との連携事業負担金	5,065
	(一社)アニメツーリズム協会会費	150
	まんが・アニメ資源活用誘客促進補助金	9,000
	まんが王国とっとり満喫周遊パス実行委員会負担金	2,500
	まんが王国活動支援補助金	15,000
	国際マンガサミット事務局会費	100
	日本マンガ学会会費	10
	氷ノ山県際交流推進事業補助金	290
	鳥取県岩美キッズトライアスロン支援事業補助金	800
	国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会負担金	300
	ニク(29)ロード推進事業補助金	707
	わかさ氷ノ山自然ふれあいの里活性化協議会負担金	1,500
	鳥取県櫻杯争奪相撲選手権大会支援補助金	400
	鳥取中部圏域広域観光連携推進事業補助金	15,000
	鳥取中部ふるさと広域連合への県職員駐在に係る庁舎利用費負担金	80
	鳥取中部ウォーキングリゾート推進事業補助金	840
	外国人ウォーカー誘客促進事業補助金	600
	SUN-IN未来ウォーク開催支援事業補助金	1,000
	大山山麓・日野川流域観光推進協議会負担金	27,760
	参道拠点整備事業補助金	2,893
	全日本トライアスロン皆生大会開催支援補助金	5,000
	皆生・大山SEA TO SUMMIT開催事業補助金	1,000
	鳥取県体育施設協会負担金	11
	中海オープンウォータースイム開催支援補助金	500
	日野郡ニューツーリズム推進事業補助金	1,050

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額
又は額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

当該年度提出に係る分

事項	課名	限度額	前年度末までの 支出(見込)額		当該年度以降の 支出予定額		左の財源内訳			
			期間	金額	期間	金額	国庫支出金	地方債	その他	一般財源
令和4年度 鳥取県未来人材育成 奨学金支援事業補助	ふるさと 人口政策課	補助金総額181,974 千円を限度として、 令和4年度に交付決 定した額から令和4 年度に交付した額を 差し引いた額			令和5年度から 令和18年度まで	限度額に同じ			限度額に同じ	

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額
又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

過年度議決済に係る分

事項	課名	限度額	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左の財源内訳			一般財源
			期間	金額	期間	金額	特定財源			
							国庫支出金	地方債	その他	
千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
平成27年度 鳥取県未来人材育成奨 学金支援事業	ふるさと 人口政策課	170,708	平成28年度から 令和3年度まで	36,527	令和4年度から 令和8年度まで	134,181			134,181	
平成28年度 鳥取県未来人材育成奨 学金支援事業	ふるさと 人口政策課	183,670	平成29年度から 令和3年度まで	38,012	令和4年度から 令和12年度まで	145,658			145,658	
平成28年度 参道にぎわい活性化支 援事業補助	西部総合事 務所県民福 祉局	36,380	平成29年度から 令和3年度まで	14,463	令和4年度から 令和8年度まで	14,463				14,463
平成28年度 特別寝台列車誘致事業 補助	観光戦略課	13,928	平成29年度から 令和3年度まで	6,219	令和4年度から 令和9年度まで	7,463				7,463
平成29年度 鳥取県未来人材育成奨 学金支援事業	ふるさと 人口政策課	183,670	平成30年度から 令和3年度まで	26,858	令和4年度から 令和13年度まで	156,812			156,812	
平成30年度 鳥取県未来人材育成奨 学金支援事業	ふるさと 人口政策課	188,620	令和元年度から 令和3年度まで	21,820	令和4年度から 令和14年度まで	166,800			166,800	
平成30年度 首都圏アンテナショップ 建物賃借料	東京本部	422,086	令和元年度から 令和3年度まで	249,098	令和4年度から 令和5年度まで	166,065			6,890	159,175
平成30年度 鳥取県立夢みなとタ ワー管理委託	観光戦略課	622,895	令和元年度から 令和3年度まで	372,789	令和4年度から 令和5年度まで	249,254				294,254
令和元年度 鳥取県未来人材育成奨 学金支援事業	ふるさと 人口政策課	187,596	令和2年度から 令和3年度まで	9,498	令和4年度から 令和15年度まで	178,098			178,098	
令和2年度 鳥取県未来人材育成奨 学金支援事業	ふるさと 人口政策課	181,976	令和3年度	670	令和4年度から 令和16年度まで	181,306			181,306	
令和2年度 関西本部管理運営費	関西本部	951	令和3年度	226	令和4年度から 令和5年度まで	452				452
令和3年度 とっとりワーケーション推 進事業補助	ふるさと 人口政策課	補助金総額 6,000千円を 限度として、 令和3年度に 交付決定した 額から令和3 年度に交付し た額を差し引 いた額			令和4年度から 令和5年度まで	6,000				6,000
令和3年度 鳥取県未来人材育成奨 学金支援事業	ふるさと 人口政策課	181,976			令和4年度から 令和17年度まで	181,976			181,976	
令和3年度 関西本部管理運営費	関西本部	339			令和4年度から 令和6年度まで	339				339